

せたな町

総合計画策定のための住民アンケート調査

中間報告書

平成18年12月

せたな町（政策調整課）

< 目次構成 >

1 . 調査の目的と方法	1
1) 調査の目的	1
2) 調査の方法	1
3) 回収状況	1
4) 調査票 (設問項目)	1
2 . 回答者の主要属性	5
1) 世帯主の年齢 (問1-1-1)	5
2) 世帯主の性別 (問1-1-2)	6
3) 回答者の居住地 (問1-1-3)	7
4) 働き手の就業・職業 (問1-1-4)	8
5) 世帯人員 (問1-2-1)	9
6) 世帯構成 (問1-2-2)	10
7) 同居している方 (問1-2-3)	11
3 . 住民活動の実態 (問1-3)	12
1) 福祉部門	12
2) 住民生活部門	14
3) 教育文化部門	15
4) 産業振興部門	16
5) 生活環境部門	17
6) 住民参加部門	18
7) 全体的な住民活動	19
4 . 行政サービスの個別評価 (問3)	22
1) 福祉施策	22
2) 住民生活施策	23
3) 教育文化施策	24
4) 産業振興施策	25
5) 生活環境施策	26
6) 住民参加施策	27
7) 行財政運営施策	28
8) 全体的な個別評価	29
5 . 定住意向	33
1) 定住意向 (問2-1)	33
2) 定住もしくは転居の理由 (問2-2)	34
6 . せたな町の総合評価	36
1) 行政に対する総合評価 (問6-1)	36
2) 近所付き合いの総合評価 (問6-2)	37
3) 住みやすさの総合評価 (問2-3)	39
7 . せたな町の将来目標	41
1) 今後の重点分野 (問4)	41
2) せたな町が目指す将来イメージ (問5)	48

1 . 調査の目的と方法

1) 調査の目的

せたな町では、将来のまちづくりを進めるうえで基本となる総合計画の策定を平成18年度、19年度で進めています。18年度は基礎作業として住民意見の把握を行っています。

そこで全町民全戸を対象としたアンケート調査を行い、町民の意見や提案、日頃から感じていることなどを把握することしました。

2) 調査の方法

調査の方法は以下のとおりです。

- 配付時期** 平成18年9月 広報せたな9月号に質問票、回答票をとり込み
記入方法 各世帯が直接回答票に記入
回収方法 地区担当職員が各戸を訪問し、回収
集計方法 回答内容を数値データに変換し、統計的処理を施し集計

3) 回収状況

全体の配付数は4,465票、回収票数は1,979票、回収率は44.3%です。

表 票の回収状況

区分	せたな町	北檜山区	瀬棚区	大成区	摘要
配付数(A)	4,465	2,270	1,100	1,095	総世帯数
回収数(B)	1,979	865	529	585	
回収率	44.3%	38.1%	48.1%	53.4%	= B / A %

4) 調査票(設問項目)

せたな町の総合計画を作成するための住民アンケート

設問1 世帯主とご家族のことについて、お答えください。

- 1) 世帯主の方の ・年齢 満()歳 ・性別(男 女)
・お住まい (北檜山区 大成区 瀬棚区)

ご家族の中の、主な働き手の職業は (1つ選んでください)

- 働いていない 農業・林業 漁業 建設業
商工業 公務員・団体職員 その他

3) せたな町は、暮らしやすい町ですか (1つ選んでください)

とても暮らしやすい	まあまあ暮らしやすい	ふつう
やや暮らしにくい	とても暮らしにくい	よくわからない

設問3 従来の3町及びせたな町の行政サービスに対するあなたの評価をお聞かせさい。

(以下の から の中から、1つ選んでください)

相当、劣っている	やや劣っている	ふつう
やや充実している	充実している	わからない

- | | |
|----------------|-------------------|
| ア) 生活道路、町道の整備 | イ) 町内のバスの運行 |
| ウ) 町営住宅の確保、整備 | エ) 水道の整備 |
| オ) 下水道の整備 | カ) ゴミ収集、ゴミ処理 |
| キ) し尿の収集と処理 | ク) 公園の整備 |
| ケ) 緑化、花いっぱい活動 | コ) 火葬場・墓地の整備 |
| サ) 景観の保護、看板の規制 | シ) 火災予防、消防、救急活動 |
| ス) 防災体制、防災活動 | セ) 除雪、排雪活動 |
| ソ) 交通安全対策 | タ) 公害防止活動 |
| チ) 健康づくり活動 | ツ) 医療、予防活動 |
| テ) 地域の福祉活動 | ト) 高齢者福祉活動 |
| ナ) 育児、子育て活動 | ニ) 障害者福祉活動 |
| ヌ) 学校教育活動 | ネ) 社会教育、文化、スポーツ活動 |
| ノ) 郷土芸能活動 | ハ) 青少年・女性活動 |
| ヒ) 国際交流、地域交流活動 | フ) 雇用、就労対策 |
| ヘ) 農業・林業の振興 | ホ) 漁業の振興 |
| マ) 商工業の振興、企業誘致 | ミ) 商店街の振興 |
| ム) 観光の振興 | モ) 広報広聴活動 |
| ラ) 行政情報の公開 | リ) 行政の窓口対応 |
| ル) コミュニティ活動の推進 | |

設問4 今後、まちづくりに重要と思われる仕事として、あなたが関心のあるものはどれでしょうか。関心のあるものを、最大5つ選んで下さい。

安心で、総合的、全町的な保健・医療・福祉を進めるまちづくり
地域の暮らしや住民活動に密着した在宅福祉を進めるまちづくり
子どもの減少への対策、少ない子どもや子どものいる世帯を支援するまちづくり
住民の自主意識を高め自発的なリーダーの育成
過疎や災害に対応した町づくり
合併後の、全町の一体感づくり
住民参加の新しい場づくり、住民と行政との交流の場づくり

既存施設を大事に使うまちづくり
地域の特色を大事にした地域振興と個性的なまちづくり
地域の歴史や資源を大事に生かしたまちづくり
民間の活力や資源を活かした行政サービスの向上
公平な行政サービスの推進
地域住民の交流による新しい産業づくり、地域づくり
他の市町村との交流や連携による町の活性化
食を中心とした、地域経済と地域社会の連携と活性化
景観や緑に配慮した美しい街並みづくり、郷土づくり
地域産業が連携した活気のあるまちづくり

設問5 今後、せたな町は、どのような町に発展してほしいと思いますか。あなたの考えに最も近いものはどれでしょう。(以下の中から1つ選んでください)

健やかに暮らせる福祉の町	活力に満ちた産業のある町
自然と共生する安全な町	多様な交流を生むにぎわいのある町
豊かな人間性と文化をはぐくむ町	みんなでつくる町

設問6 せたな町のまちづくりについて、あなたのお考えをお聞かせください。

1) せたな町もしくは旧3町の行政サービスについて、あなたの満足状況はいかがでしょうか。(以下の中から1つ選んでください)

おおいに満足している	まあ、満足している	ふつう
あまり、満足していない	全く、満足していない	わからない

2) 近所づきあいや町内会活動について、あなたの満足状況はいかがでしょうか。(以下の中から1つ選んでください)

おおいに満足している	まあ、満足している	ふつう
あまり、満足していない	全く、満足していない	わからない

これからのまちづくりに対して、ご意見等がありましたらご自由にお書きください。

2 . 回答者の主要属性

1) 世帯主の年齢 (問1-1-1)

設問1 世帯主とご家族のことについて、お答えください。

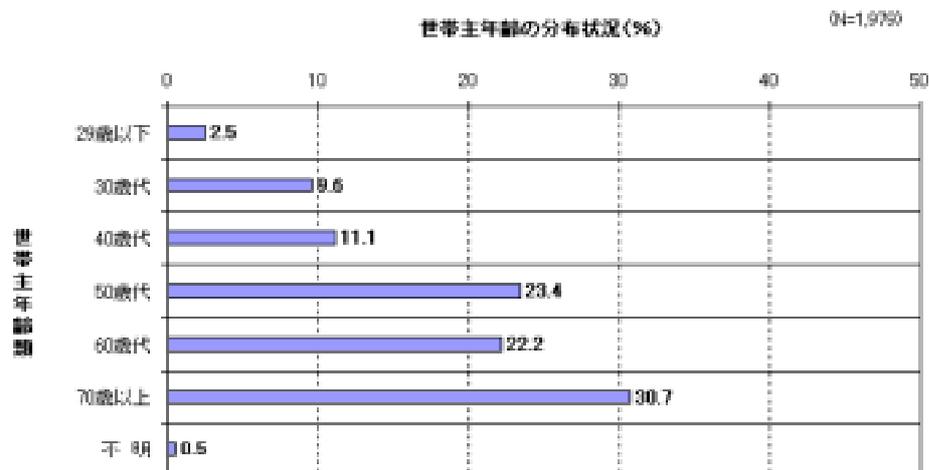
1) 世帯主の方の ・年齢 満 () 歳

集計結果

- ・ 回答者1,979人のうち、最も多いのは70歳以上の608人 (回答者総数の30.7%) です。ついで、50歳代の463人 (23.4%)、60歳代の440人 (22.2%) となっています。
- ・ 全体として39歳以下の若い階層は238世帯 (12.0%)、40~59歳の階層で683人 (34.5%)、60歳以上の方で1,048人 (53.0%) となっています。

考 察

- ・ 全体では、60歳以上の回答者が53%、39歳以下は12%となっています。
- ・ 回答の全体傾向としては、高齢者世帯の実態や意向を反映している回答と思われます。
- ・ 産業、子育て施策など60歳以下の住民の実態、動向の把握については、年齢階層別の集計分析が必要と思われます。



2) 世帯主の性別 (問1-1-2)

設問1 世帯主とご家族のことについて、お答えください。

1) 世帯主の方の ・性別 (男 女)

集計結果

・回答者1,979人のうち、1,606人(81.2%)は男性です。

考 察

・回答者の81%が男性となっています。世帯主の性別の実態と対応していると思われます。



3) 回答者の居住地 (問1-1-3)

設問1 世帯主とご家族のことについて、お答えください。

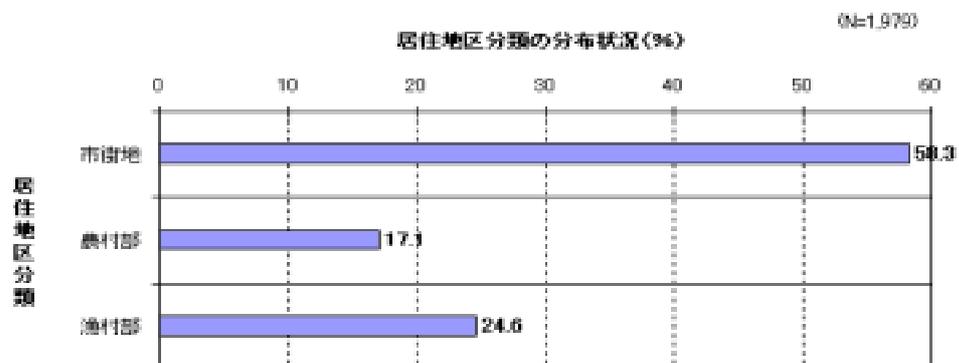
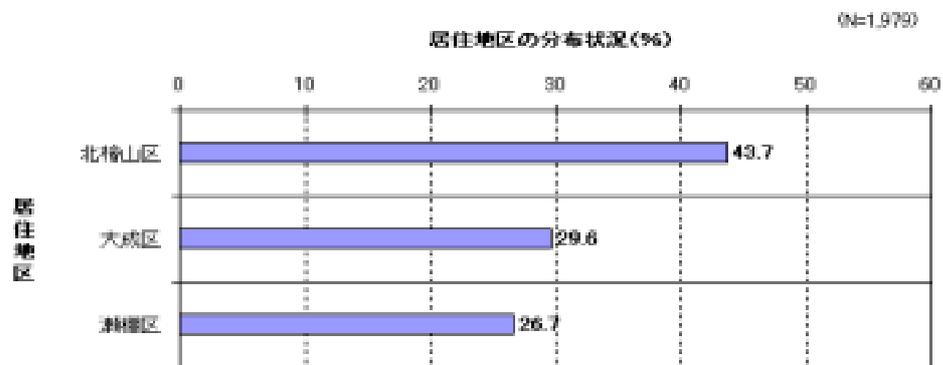
1) 世帯主の方のお住まい (北檜山区 大成区 瀬棚区)

集計結果

- ・ 回答者の居住地は、北檜山区が865人 (全回答者の43.7%)、大成区が585人 (29.6%)、瀬棚区が529人 (26.7%) となっています。
- ・ 居住地特性では市街地は1,154人 (58.3%)、農村部が338人 (17.1%)、漁村部が487人 (24.6%) となっています。

考 察

- ・ 3区の世帯数比率は、北檜山区50.8%、大成区24.5%、瀬棚区24.6%です。
- ・ 地区別の世帯数の比率、(北檜山区) 51% : (大成区) 24% : (瀬棚区) 25%と回答者の地区別の比率が概ね合致しますので、地区別の集計は、住民の地域バランスを反映していると思われます。



4) 働き手の就業・職業 (問1-1-4)

ご家族の中の、主な働き手の職業は (1つ選んでください)			
働いていない	農業・林業	漁業	建設業
商工業	公務員・団体職員	その他	

集計結果

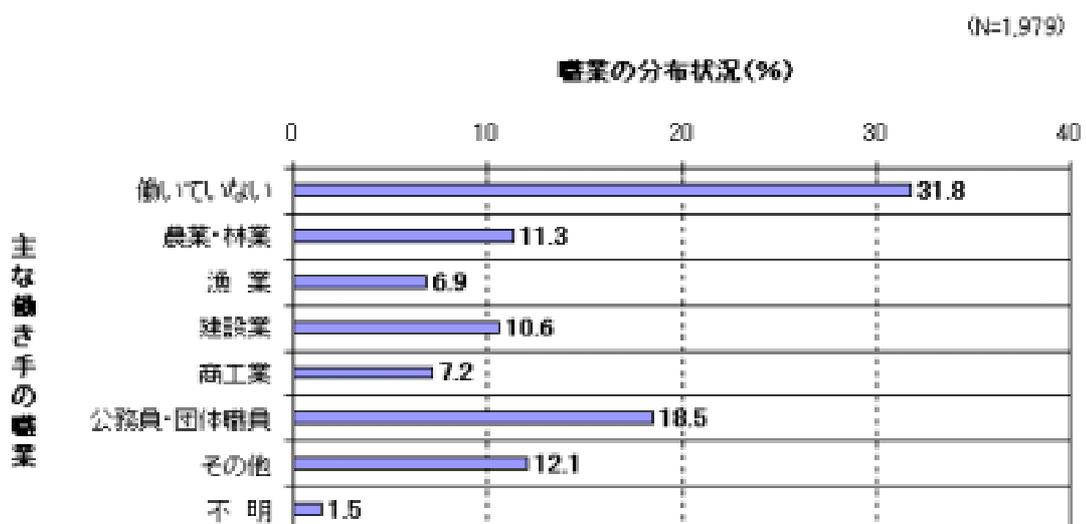
・回答者のうち630人(31.8%)が働いていないと回答し、働いている(職業がある)と回答した人は1,319人(66.7%)です。

・主な働き手の職業(職種)は、公務員・団体職員が367人(全回答者の18.5%)、ついで商工業以外のサービス業の240人(12.1%)、農業・林業の224人(11.3%)、建設業の209人(10.6%)となっています。

考 察

・働いていない人が32%です、70歳以上の方が608人(30.7%)と合致します。よって、回答は住民の働いている、働いていないの比率と合致すると思われます。

・働き手の職種では、公務員・団体職員、商工業以外のサービス業、農林業が上位にきていることから、建設業(2次産業)、一般物販業(3次産業)の回答率が低いことが推察されます。



5) 世帯人員(問1-2-1)

設問1-2) 家族について

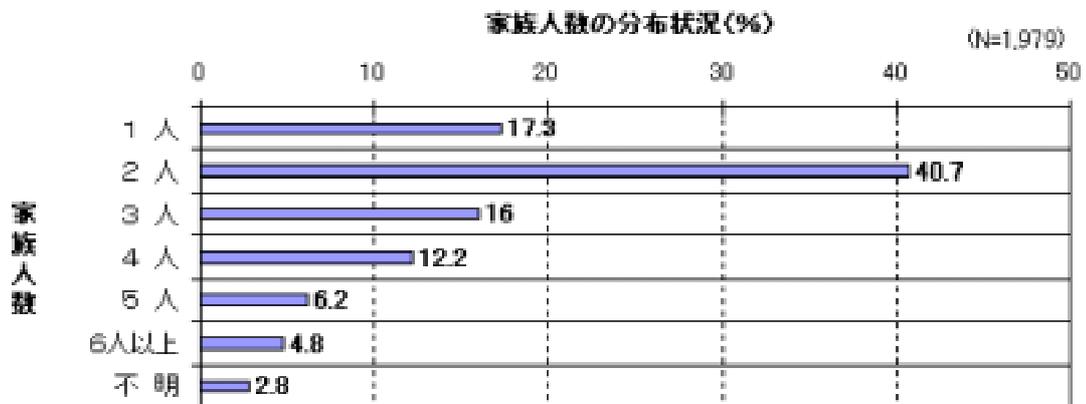
・同居のご家族の人数は、本人を含め()人

集計結果

- ・家族数(世帯人員)は、1人が342人(17.3%)、2人が806人(40.7%)、3人が316人(16.0%)です。
- ・1、2人の計は58.0%で、全回答者の6割が1人、2人世帯です。5人以上の世帯は11.0%です。

考 察

- ・回答者の58%が、単身世帯、夫婦のみの世帯と推察されます。世帯人員の平均値は2.65人となっており、全町的に小家族化が進行していることが分かります。



6) 世帯構成 (問1-2-2)

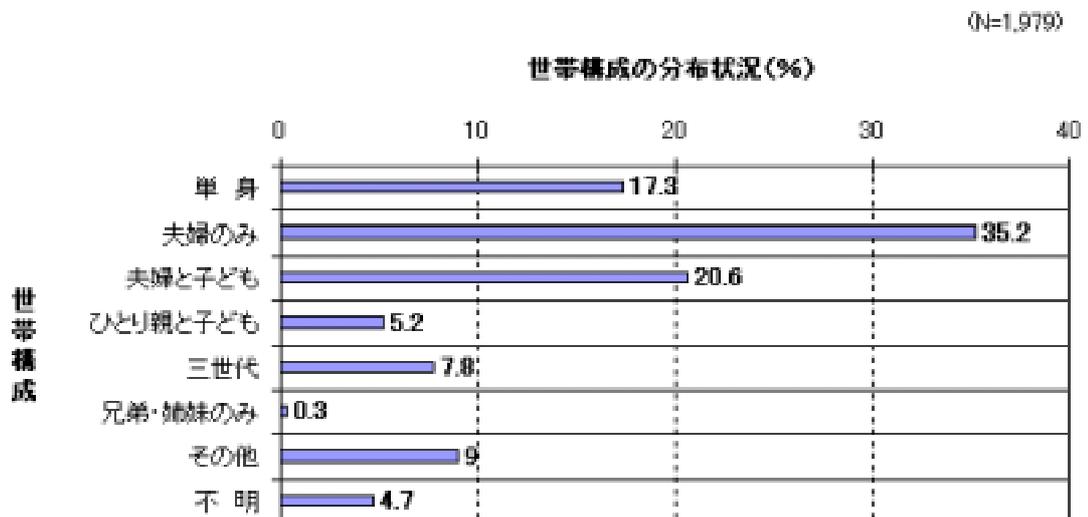
世帯の構成は (1つ選んでください)			
単身	夫婦のみ	夫婦と子ども	ひとり親と子ども
三世代	兄弟・姉妹のみ	その他	

集計結果

・世帯構成で、最も多いのは夫婦のみで696人(35.2%)、ついで夫婦と子どもの407人(20.6%)です。単身世帯は342世帯(17.3%)です。

考 察

・世帯のうち子どもがいる世帯とは、夫婦と子ども、ひとり親と子ども、三世代の3種類ですが、これで664人(33.6%)、回答者の約1/3を占めます。



7) 同居している方(問1-2-3)

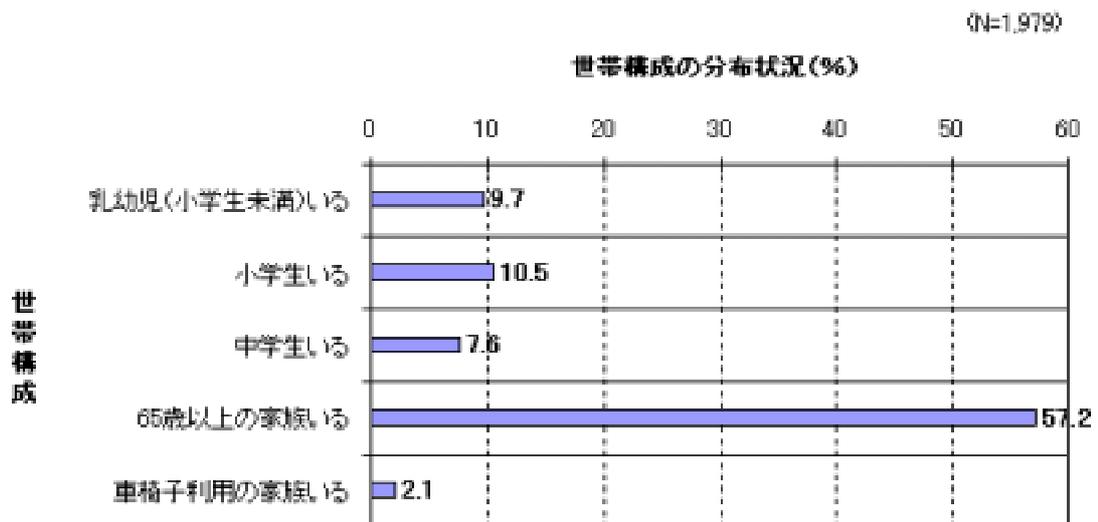
一緒に住んでいるご家族を、(いる いない) でお答え下さい。
ア) 乳幼児(小学生未満) イ) 小学生 ウ) 中学生
エ) 65歳以上の方 オ) 車椅子を利用している方

集計結果

- ・小学生未満の乳幼児のいる世帯は192世帯(9.7%)、小学生のいる世帯は208世帯(10.5%)、中学生のいる世帯は150世帯(7.6%)です。
- ・一方、65歳以上の家族のいる世帯は1,131世帯(57.2%)、また車椅子を利用している方がいるのは42世帯(2.1%)です。

考 察

- ・回答者のうち10%で乳幼児がいます。
- ・また、回答者の57%で、高齢者が同居しています。
- ・車椅子利用者は、2%となっています。



3 . 住民活動の実態（問1-3）

設問 1 - 3) ご家族は、過去一年で次の活動や行政サービスを利用（参加）していますか。（以下の から の中から、1つ選んでください）

よく利用（参加）している

時々、利用（参加）している

年に1、2回程度、利用（参加）している

あまり利用（参加）していない

全く、利用（参加）していない

1) 福祉部門

シ) 福祉活動（手伝いを含む）

ス) 高齢者活動（手伝いを含む）

セ) 育児、子育て活動（手伝いを含む）

ソ) 障害者福祉活動（手伝いを含む）

サ) 健康診断、健康づくり活動

ウ) 休日医療、夜間医療の利用

集計結果

・福祉施策の利用（参加）状況をみると、利用する、時々利用する、年に1、2回、をあわせた「利用（参加）」が最も多いのは、「健康診断・健康づくり活動」です。回答者の43.0%が利用と答えています。

・ついで、休日医療・夜間医療の利用（24.1%）、福祉活動（手伝いを含む）（23.7%）、高齢者活動（手伝いを含む）（21.7%）となっています。

・逆に、あまり利用していない、まったく利用していないをあわせた、「利用（参加）していない」が多いものは、障害者福祉活動（手伝いを含む）で66.6%となっています。それ以外にも、医療関係以外の福祉活動については5割以上の住民が利用していないと答えています。

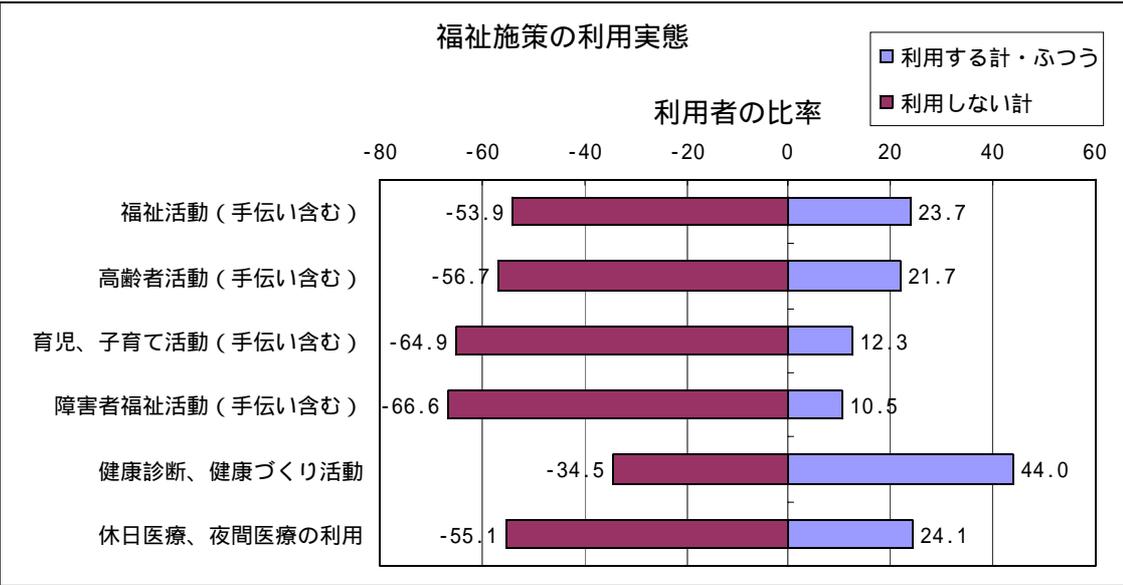
考 察

・福祉施策の利用、参加は、健康診断・健康相談など誰もが関係のあることについて、利用の実績が高いことが明らかとなりました。

・健康診断・健康づくり活動については、利用の計が44.0%、利用しないの計が34.5%で、利用が、利用しないを大きく上回っています。健康診断・健康づくり活動は、多くの住民の日常生活に定着していると推察されます。

・また障がい者福祉をはじめ、育児・子育て、高齢者活動、福祉活動は、半数以上の住民にとって、利用や参加の実績がほとんどないことも分かりました。

・とくに育児・子育て活動（手伝いを含む）は、住民全体として、利用（参加）が少なく、利用していないが大きくなっています。子育て期を終えた家族や大人の参加行動の掘り起こしが、今後の課題です。



2) 住民生活部門

ア) 町内でのバスの利用	カ) 町内の美化緑化清掃活動	キ) 消防団活動
ク) 地震、災害など防災活動	ケ) 交通安全活動	コ) 町内会活動

集計結果

・住民生活施策の利用（参加）状況をみると、利用する、時々利用する、年に1, 2回を合わせた「利用（参加）」は、町内会活動で53.8%、町内の美化・緑化活動で46.2%と、利用が多くなっています。

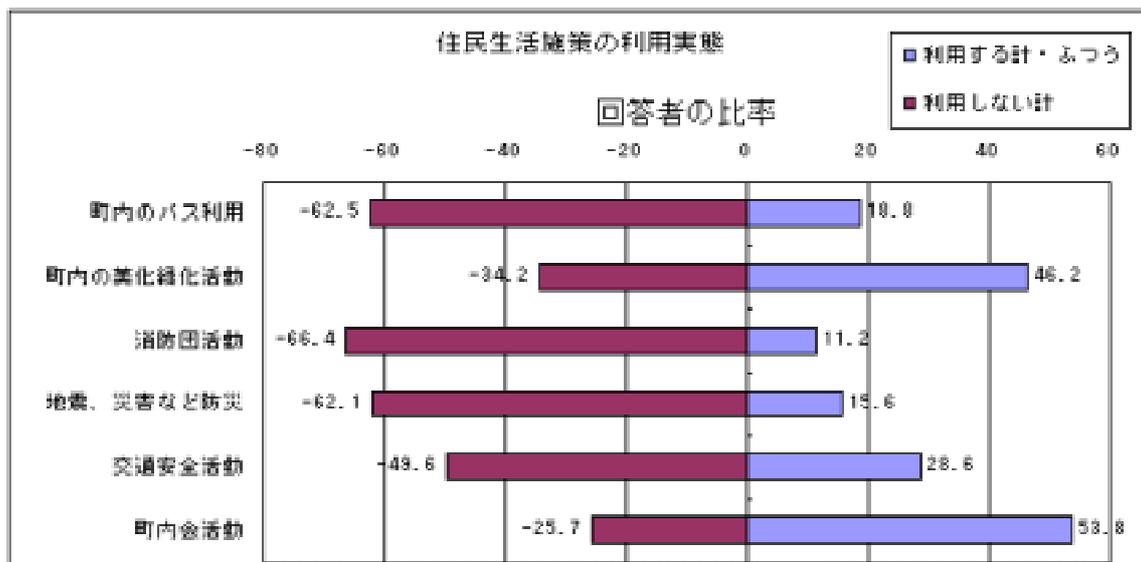
・一方、消防団活動は11.2%、地震・災害など防災活動が15.6%、町内でのバス利用は18.8%と、利用は少なくなっています。

・あまり利用していない、まったく利用していないを合わせた、「利用（参加）していない」が多いものは、消防団活動（66.4%）、町内のバス利用（62.5%）、地震・災害など防災（62.1%）、交通安全（49.6%）です。

考 察

・美化活動以外の地域活動は、町内会活動を除いて、利用（参加）状況が定着していないことが分かりました。

・また町内でのバス利用も、一部の人に限定されていることも分かりました。



3) 教育・文化部門

タ) スポーツ活動	チ) 芸術文化(伝統芸能含む)活動
ツ) 青少年・女性団体活動	テ) 町のお祭りやイベント活動

集計結果

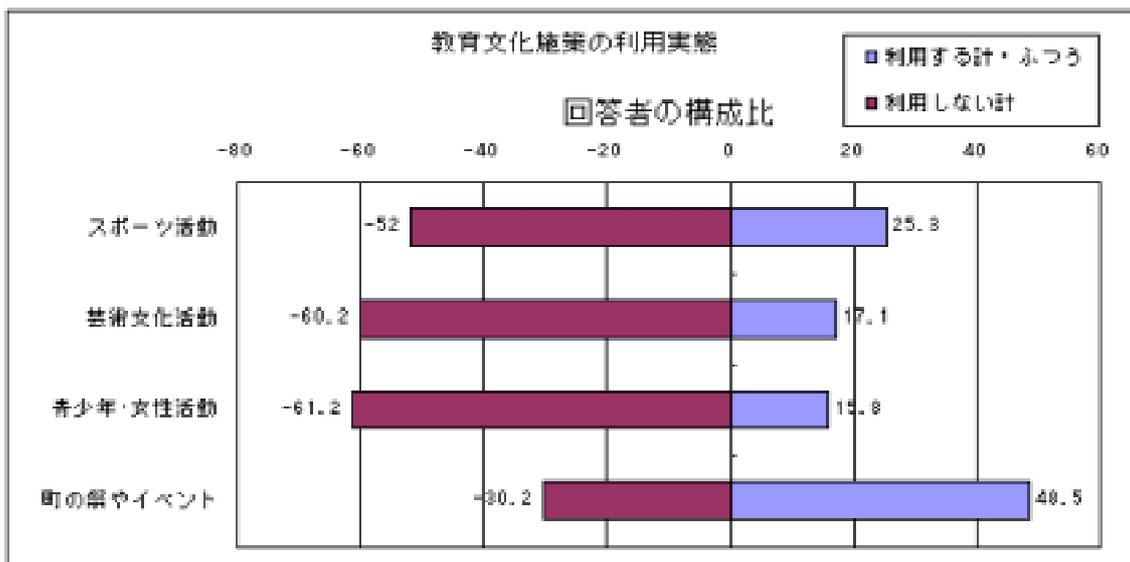
・教育・文化活動の利用(参加)状況をみると、利用する、時々利用する、年に1、2回をあわせた「利用(参加)」は、町のお祭りやイベント活動への参加が48.5%と、利用が約半数となっています。またスポーツ活動は25.3%で、一部の愛好者に定着していることが推察されます。

考 察

・教育文化活動は、お祭りやイベントは定着しているものの、スポール活動、芸術文化活動、青少年・女性団体活動は、関心のある人に定着しています。

・一方、スポール活動、芸術文化活動、青少年・女性団体活動をしていなひとも、半数以上いることがわかりました。

・教育文化活動は、お祭りやイベントは町民の多くが参加していますが、それ以外の活動は、関心のある人、愛好者に限られているものと思われます。



4) 産業振興部門

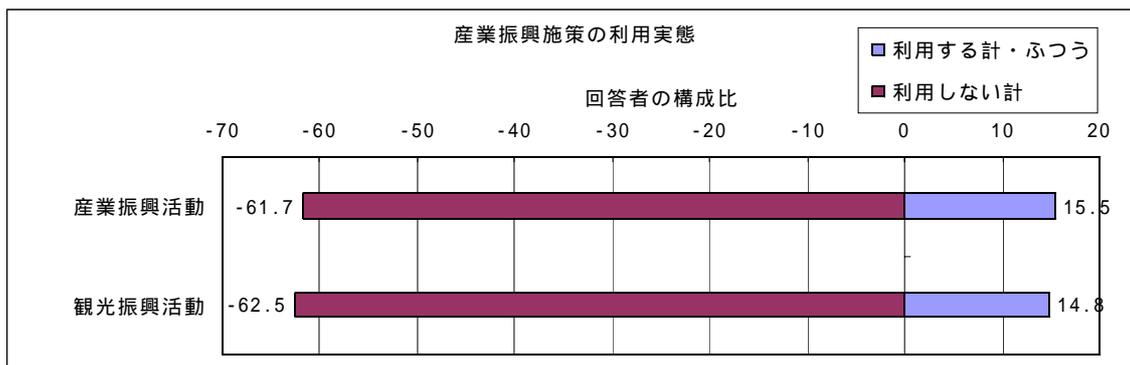
ナ) 産業振興活動	二) 観光振興活動
-----------	-----------

集計結果

- ・産業振興施策の利用（参加）状況をみると、利用する、時々利用する、年に1、2回をあわせた「利用（参加）」は、産業活動で15.5%、観光振興活動で14.8%となっています。
- ・利用しないは、いずれも60%以上です。

考 察

- ・世帯単位のアンケートでは、産業振興に対する利用、参加は、実績が低くでている。
- ・ただ農業、漁業、商業などは世帯単位の産業であり、家族の理解や参加、支援が可能であることから、もっと関心を高める必要性がうかがえます。



5) 生活環境部門

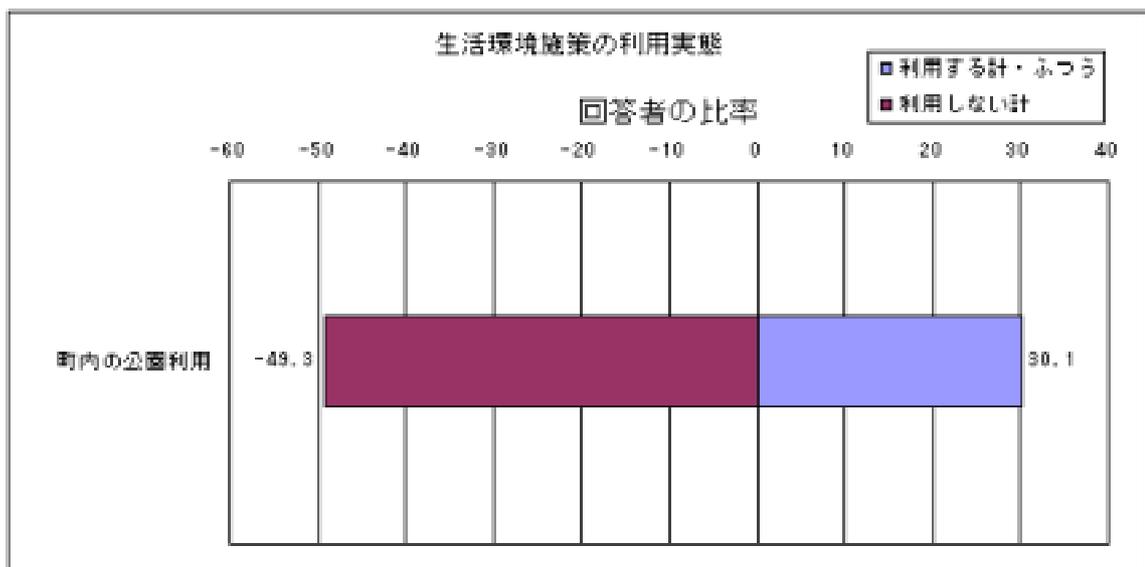
イ) 町内での公園の利用

集計結果

- ・生活環境施設（公園）の利用状況をみると、利用する、時々利用する、年に1、2回をあわせた「利用（参加）」は、30.1%となっています。
- ・一方、利用しないは50%となっています。

考 察

- ・公園の利用に関しては、利用は30%ありますが、利用していないが50%となっています。公園は、子どもの遊び以外にも、レクリエーション、緑、防災など市街地の不可欠な要素をもっていることから、住民の関心を高める必要があります。



6) 住民参加部門

オ) 町の広報誌の利用(熟読) エ) 町ホームページの利用
 ト) 国際交流、地域交流活動 ヌ) 子ども会・PTA活動
 ネ) ボランティア活動

集計結果

・参加施策の利用(参加)の状況を見ると、利用する、時々利用する、年に1、2回をあわせた「利用(参加)」は、町の広報の熟読で60.4%となっています。

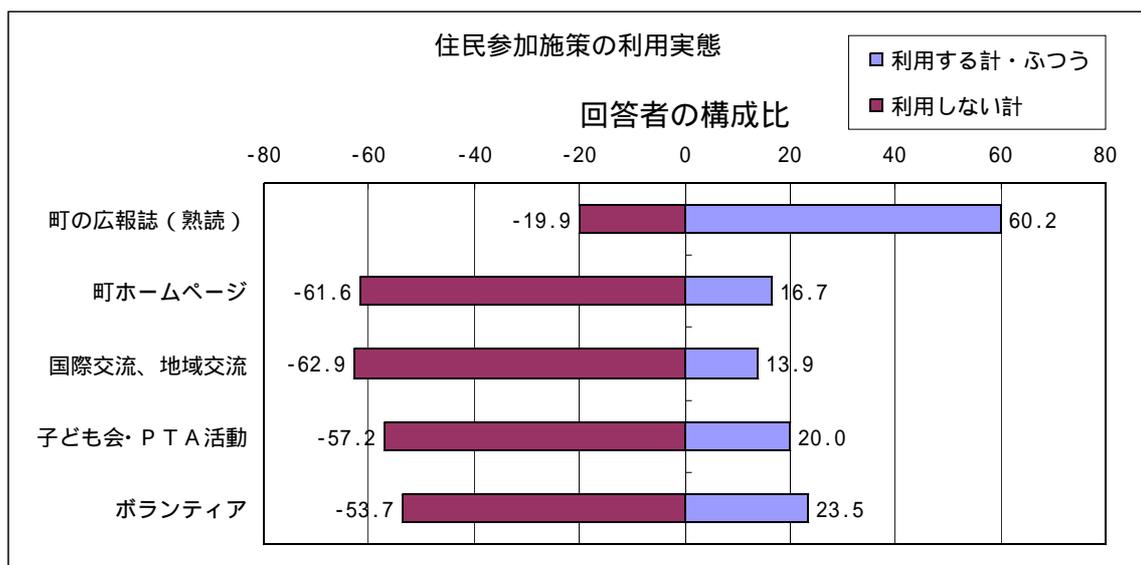
・一方、ボランティア活動、子供会・PTA活動など、住民参加型の活動は、利用(参加)が、最大24%程度となっています。で住民全体に定着しているとはいいいがたい状況です。

考 察

・町の広報誌は、60%の住民が熟読していると答えており、町の広報の役割を担っていることが明らかとなりました。

・しかし町のホームページは利用が17%、利用していないが62%で、未だ定着していないこともわかりました。

・ボランティア活動、子供会・PTA活動など、住民参加型の活動は、利用(参加)が、最大24%で、関係者の活動として定着しているものの、住民全体に定着しているとはいいいがたい状況です。



7) 全体的な住民活動

よく利用(参加)されている施策

集計結果

- ・よく利用(参加)されている施策のうち、利用が多い施策は、以下のものです。

町の広報誌の利用(熟読)	(58.5%)	町内会活動	(45.0%)
町のお祭りやイベント活動	(38.2%)	町内の美化緑化清掃活動	(31.8%)
健康診断、健康づくり活動	(31.1%)		

- ・利用(参加)しないの指摘が少ない施策は、以下のものです。

町の広報誌の利用(熟読)	(19.9%)	町内会活動	(25.7%)
--------------	---------	-------	---------

考 察

- ・多くの住民に定着していることが明らかとなった活動、施策は、家族単位で実益があり、子どもからお年寄りまで利用(参加)できるものです。
- ・住民の活動への参加を考えると、家族単位、誰でもが実益があり、利用、参加できるものが、参加率が向上しやすいことが分かってきました。
- ・施策の具体化を考えると、施策の効用を明確化することが重要です。

あまり利用(参加)されていない施策

集計結果

- ・利用(参加)するが少くない施策は、以下のものです。

障害者福祉活動(手伝い含む)	(6.7%)	消防団活動	(8.7%)
育児、子育て活動(手伝い含む)	(9.1%)	観光振興活動	(9.4%)
休日医療、夜間医療の利用	(9.5%)	国際交流、地域交流活動	(9.6%)
青少年活動、女性団体活動	(10.9%)	産業振興活動	(11.2%)
芸術活動(伝統芸能含む)	(11.4%)	地震、災害など防災活動	(11.8%)
町ホームページの利用	(13.5%)	高齢者活動(手伝い含む)	(14.4%)

- ・利用(参加)しないの指摘が多い施策は、以下のものです。

障害者福祉活動（手伝い含む）	（66.6%）	消防団活動	（66.4%）
育児、子育て活動（手伝い含む）	（64.9%）	国際交流、地域交流	（62.9%）
観光振興活動	（62.5%）	町内でのバスの利用	（62.5%）
地震、災害など防災活動	（62.1%）	産業振興活動	（61.7%）
町ホームページの利用	（61.6%）	青少年、女性団体活動	（61.2%）
芸術活動（伝統芸能含む）	（60.2%）	子供会、PTA活動	（57.2%）
高齢者活動（手伝いを含む）	（56.7%）	休日夜間、夜間医療の利用	（55.1%）
福祉活動（手伝いを含む）	（53.9%）	ボランティア活動	（53.7%）
スポーツ活動	（52.0%）		

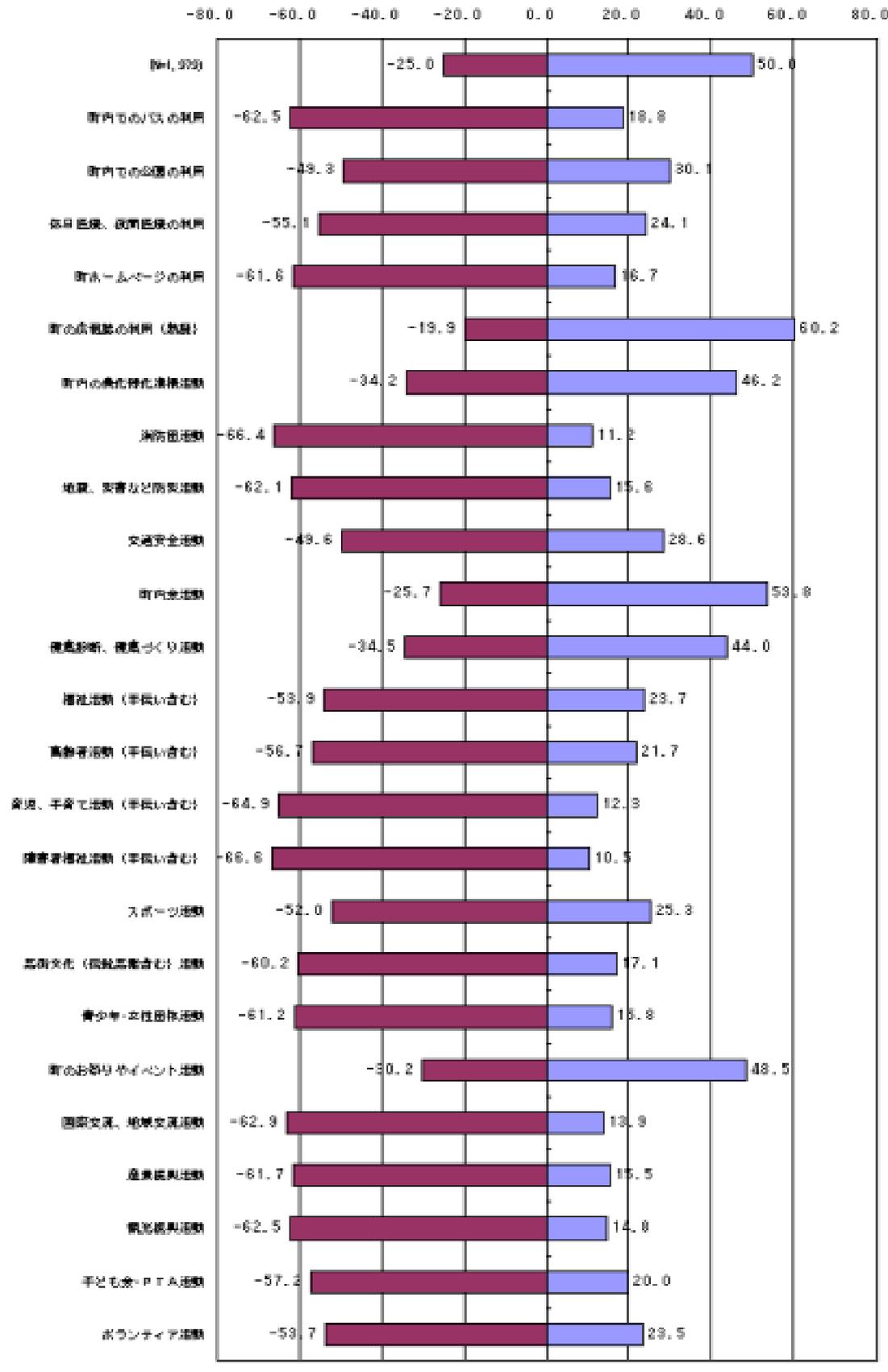
考 察

- ・多くの住民に定着していないと思われる活動、施策は、基本的に個人活動が上位にきています。
- ・消防、防犯など地域活動については、明らかに住民の参加率が低いことも分かっています。
- ・傾向としては、愛好者、子どもなど、特定の階層に限定した施策は、活動（参加）している世帯の比率が、最大2割程度であることも分かりました。
- ・住民の活動への参加を考えると、家族単位、誰でもが利用、参加できるものが、参加率が向上しやすく、特定階層向け、個人向けの施策は、2割どまりであるといえそうです。
- ・施策の具体化を考えると、施策の参加対象階層を明らかとし、参加率を考えることが重要です。

町民活動の実態

回答者の構成比

■ 利用する計・ふつう
■ 利用しない計



4 . 行政サービスの個別評価

設問3 従来の3町及びせたな町の行政サービスに対するあなたの評価をお聞かせさい。
 (以下の から の中から、1つ選んでください)

相当、劣っている	やや劣っている	ふつう
やや充実している	充実している	わからない

1) 福祉施策

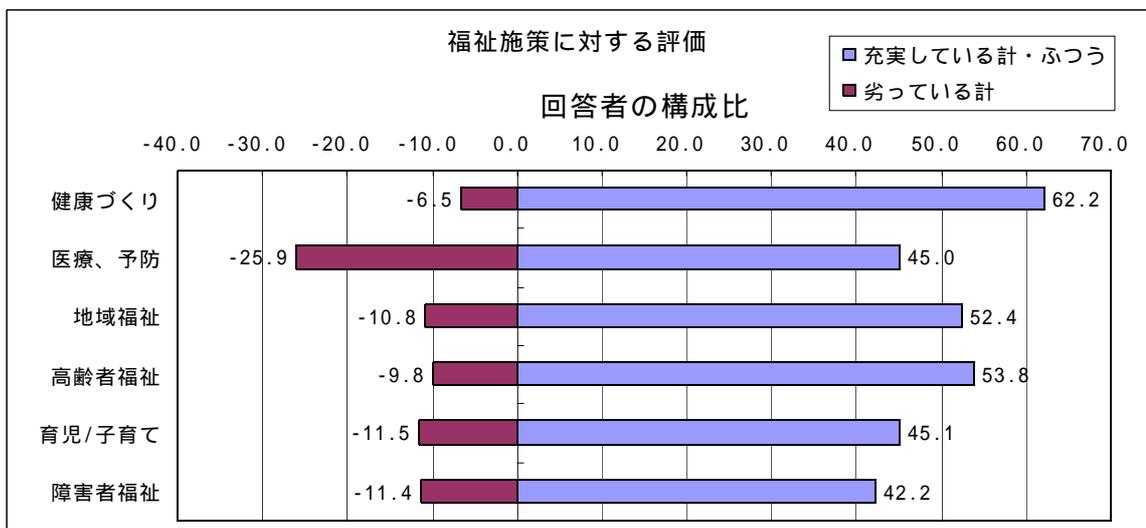
チ) 健康づくり活動	ツ) 医療、予防活動	テ) 地域の福祉活動
ト) 高齢者福祉活動	ナ) 育児、子育て活動	ニ) 障害者福祉活動

集計結果

- ・福祉部門の活動や施策に対する評価で、相当劣っている、やや劣っていると、「劣っている」の指摘が多いのは、医療、予防施策（25.9%）です。
- ・ふつうも含め「充実している」の指摘が多いのは、健康づくり活動（62.4%）、高齢者福祉活動（53.8%）、地域福祉活動（52.4%）です。

考 察

- ・福祉施策、福祉活動に対する評価は、総じて充実していると高い評価を受けています。
- ・健康づくり、医療など、誰にでも関わりのある分野はもとより、子育てや障害者の活動も充実していると評価されています。
- ・医療、予防活動については、劣っているが25.9%となっています、改善の余地が大きいことが明らかとなりました。



2) 住民生活施策

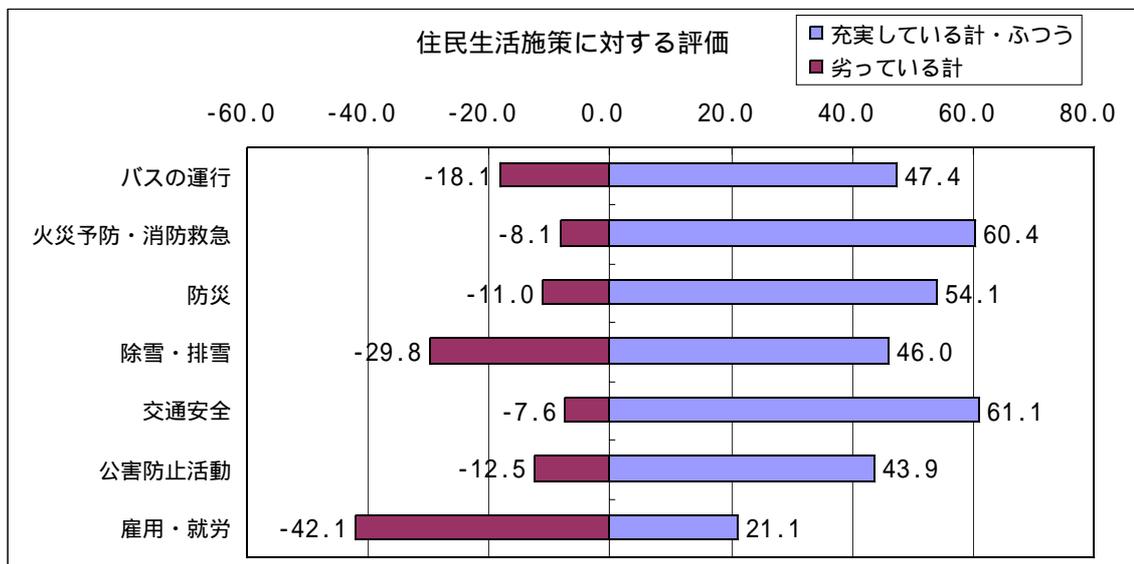
イ) 町内のバスの運行	シ) 火災予防、消防、救急活動
ス) 防災体制、防災活動	セ) 除雪、排雪活動
タ) 公害防止活動	ソ) 交通安全対策
	フ) 雇用、就労対策

集計結果

- ・住民生活部門の活動や施策に対する評価で、「劣っている」の指摘が多いのは、雇用・就労施策（42.1%）、除雪排雪施策（29.8%）です。
- ・「充実している」の指摘が多いのは、交通安全（61.1%）、火災予防・消火救急（60.4%）です。また充実しているが低いものとして、雇用・就労の21.1%があります。

考 察

- ・住民生活施策で、住民に最も関心の高い施策は、雇用・就労対策です。この施策については、劣っているが多く、充実していると回答した人の2倍以上となっています。
- ・また除雪・排雪は、劣っているが29.8%、充実しているが46.0%で、不満が多いことが分かりました。



3) 教育文化施策

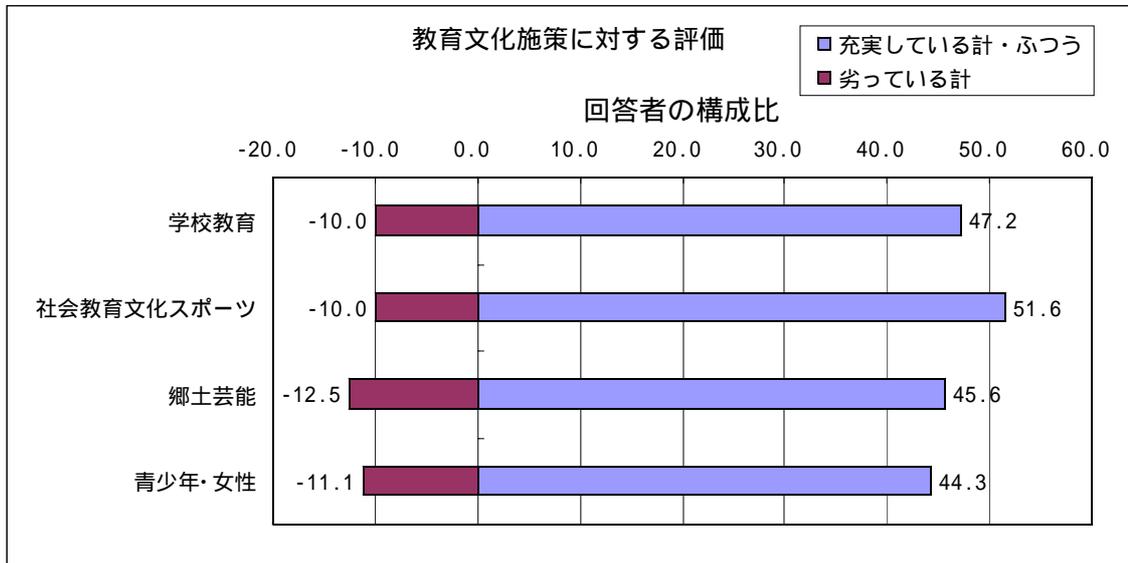
ヌ) 学校教育活動	ネ) 社会教育、文化、スポーツ活動
ノ) 郷土芸能活動	ハ) 青少年・女性活動

集計結果

・教育文化部門の活動、施策は、全体として「劣っている」という指摘が10%程度、「充実している」という指摘は、40～50%となっています。多いのは、郷土芸能(12.5%)、です。

考 察

・教育文化施策は、充実しているという指摘が半数程度です。
・劣っているが10%程度となっており、不満は、一部の階層に限られているものと思われます。



4) 産業振興施策

へ) 農業・林業の振興	ホ) 漁業の振興	マ) 商工業の振興、企業誘致
ミ) 商店街の振興	ム) 観光の振興	

集計結果

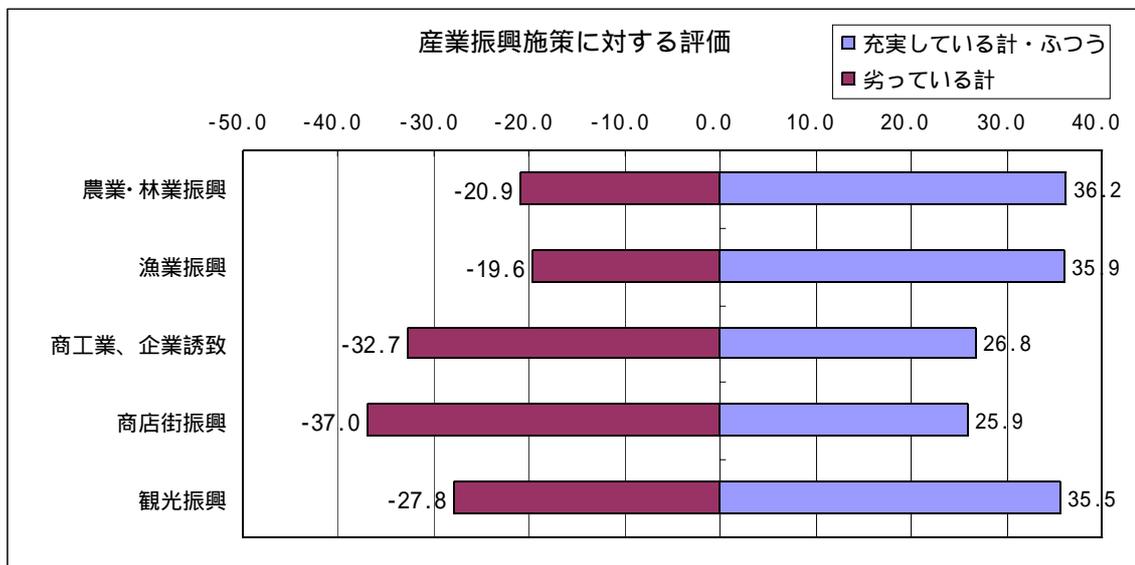
・産業振興部門の活動や施策の評価で、「劣っている」という指摘が多いのは、商店街振興（37.0%）、商工業・企業誘致（32.7%）、観光振興（27.8%）です。

・「充実している」と評価されているものは、漁業、農業・林業、観光振興ですが、必ずしも高い評価ではありません。

考 察

・産業振興部門の活動や施策で、商店街振興、商工業・企業誘致は、劣っているの評価が多く、かつ充実指定を上回っています。3)の雇用、就労の指摘とあわせ、住民の期待が大きいことがうかがえます。、観光振興（27.8%）です。

・漁業、農業・林業、観光振興も、充実しているの評価が劣っているを上回っていますが、他の活動、施策と比べると、劣っているとの指摘が多くなっています。



5) 生活環境施策

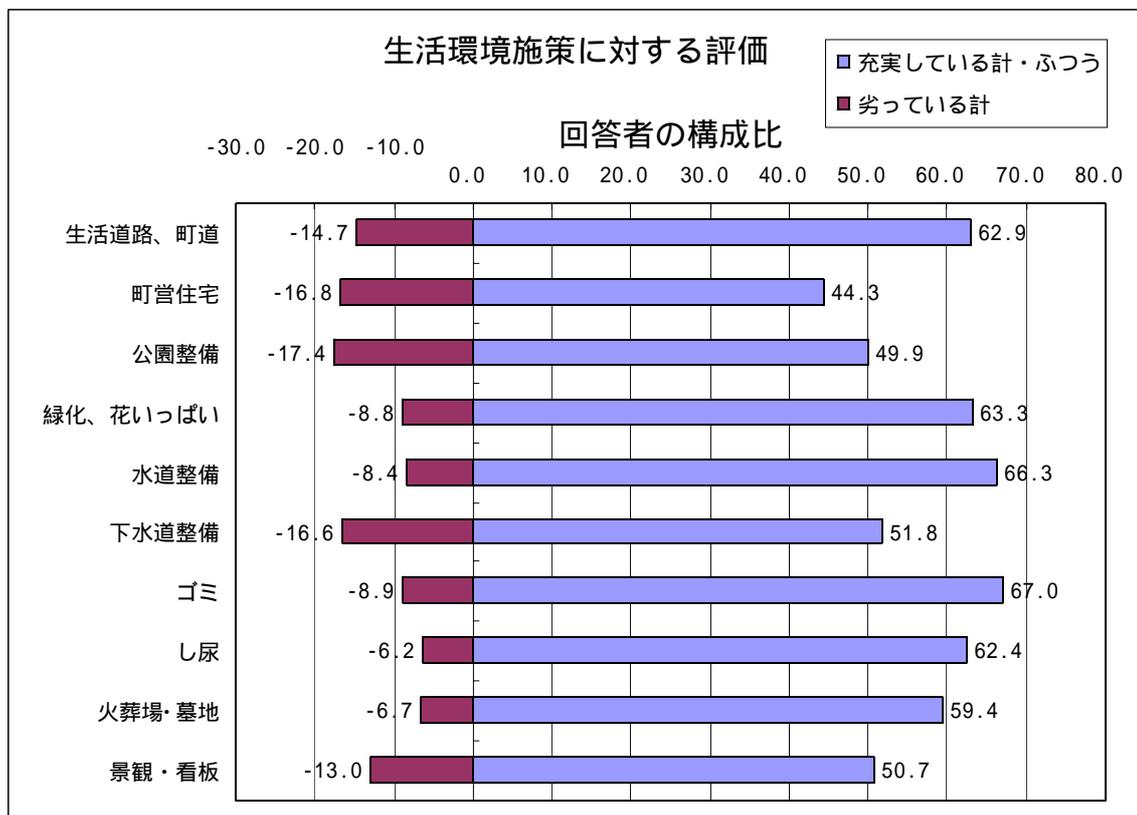
ア) 生活道路、町道の整備	ウ) 町営住宅の確保、整備	ク) 公園の整備
ケ) 緑化、花いっぱい活動	エ) 水道の整備	オ) 下水道の整備
カ) ゴミ収集、ゴミ処理	キ) し尿の収集と処理	
コ) 火葬場・墓地の整備	サ) 景観の保護、看板の規制	

集計結果

- ・生活環境部門の活動や施策で、「劣っている」との指摘が多いのは、公園整備(17.4%)、町営住宅(16.8%)、下水道整備(16.6%)です。
- ・ふつうを含め「充実している」との指摘が多いのは、ゴミ(67.0%)、水道整備(66.3%)、緑化・花いっぱい運動(63.3%)などです。
- ・景観・看板は、ふつうを含めた「充実している」との指摘が50.7%ありますが、充実しているとの積極的な評価は9.3%です。

考 察

- ・生活環境施設や施策については、町営住宅、公園整備、景観・看板、下水道を除き、充実しているとの評価を受けている。



6) 住民参加施策

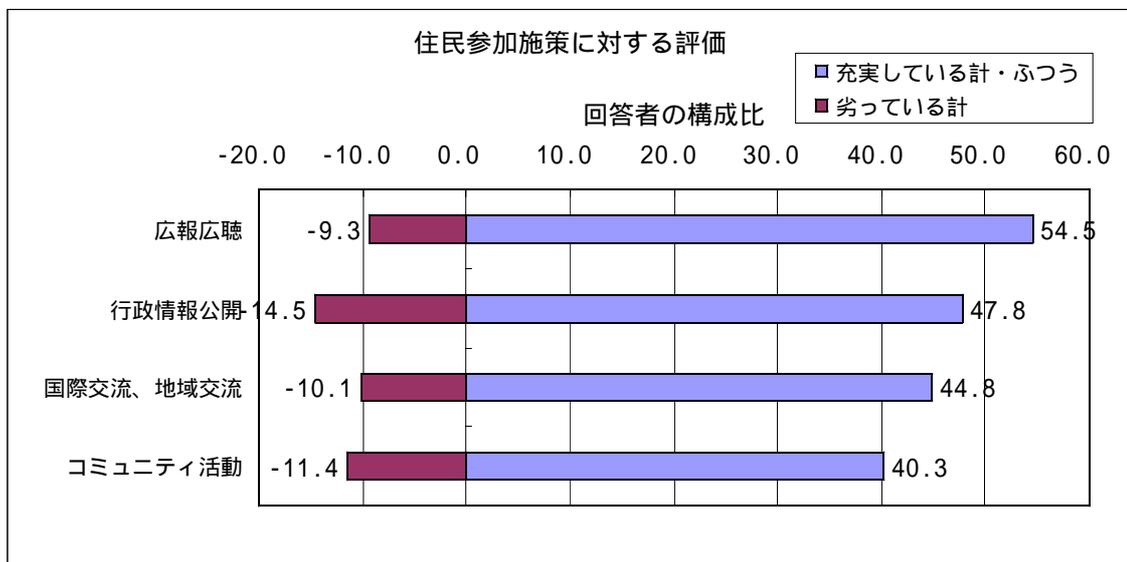
モ) 広報広聴活動	ラ) 行政情報の公開
ヒ) 国際交流、地域交流活動	ル) コミュニティ活動の推進

集計結果

- ・住民参加部門の活動や施策で、「劣っている」と指摘されているのは、行政情報の公開（14.5%）です。
- ・「充実している」と指摘されているのは広報広聴（54.5%）、行政情報の公開（47.8%）です。

考 察

- ・住民参加施策は、総じて充実しているとの評価が高く、劣っているとの指摘は多くはありません。
- ・そのなかで、充実しているが、劣っているを大きく上回っているのは、広報広聴です。
- ・劣っているが総体的に多いものは、行政情報の公開です。



7) 行財政運営施策

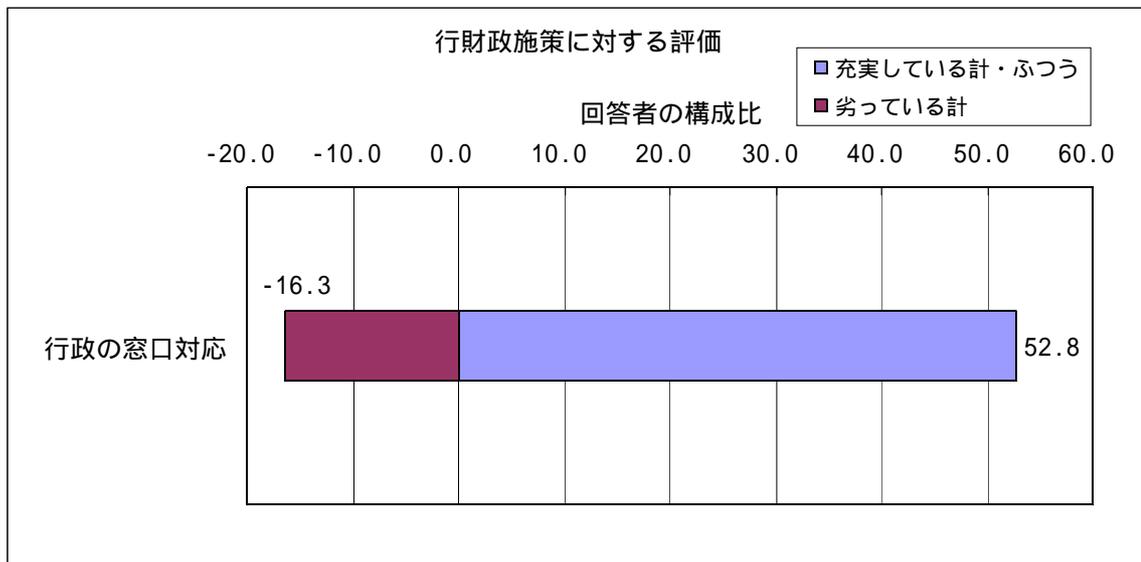
リ) 行政の窓口対応

集計結果

・行政の窓口対応は、「劣っている」が16.3%、ふつうを含め「充実している」は52.8%となっています。

考 察

・充実しているが50%を越えており、全体としては住民の評価は高いといえますが、劣っているとの指摘も、他の指標に比べると高く出ています。



8) 全体的な個別評価

充実していると指摘された施策

集計結果

・施策のうち、ふつうを含む「充実している」という指摘（充実しているの計）が多いものは、以下のものです。

・上位には、生活環境の分野が集中しています。

ゴミ収集・ゴミ処理	(67.0%)
水道の整備	(66.3%)
緑化・花いっぱい運動	(63.3%)
生活道路・町道の整備	(62.9%)
し尿収集と処理	(62.3%)
健康づくり活動	(62.2%)
交通安全対策	(61.1%)
火災予防・消防・救急活動	(60.4%)

・「劣っている」との指摘が少ないのは、以下の施策です。生活環境施設が上位にきています。

し尿収集と処理	(6.2%)
健康づくり活動	(6.5%)
火葬場・墓地の整備	(6.7%)
交通安全活動	(7.6%)
火災予防・消防・救急活動	(8.1%)
水道の整備	(8.4%)
緑化・花いっぱい運動	(8.8%)
ゴミ収集・ゴミ処理	(8.9%)
広報広聴活動	(9.3%)
高齢者福祉活動	(9.8%)

考 察

・生活環境施設（ゴミ収集・ゴミ処理、水道の整備、生活道路・町道の整備、火葬場・墓地の整備、し尿収集と処理）、福祉施策（健康づくり活動、高齢者福祉活動）、まちづくり活動（緑化・花いっぱい運動、交通安全対策、火災予防・消防・救急活動、広報広聴活動）については、施策が充実している、劣ってはいないと、肯定的な評価を受けています。

劣っていると指摘された施策

集計結果

- ・施策のうち、「劣っている」という指摘の多いものは、以下のものです。
- ・雇用、産業振興の分野と除雪、医療の分野です。

・雇用・就労対策	(42.1%)
・商店街の振興	(37.0%)
・商工業の振興・企業誘致	(32.7%)
・除雪・排雪活動	(29.8%)
・医療・予防活動	(25.9%)
・観光の振興	(27.8%)

- ・「充実している」との指摘が少ないものは、以下の施策です。雇用、産業振興の施策です

・雇用・就労対策	(21.1%)
・商店街の振興	(25.9%)
・商工業の振興、企業誘致	(26.8%)

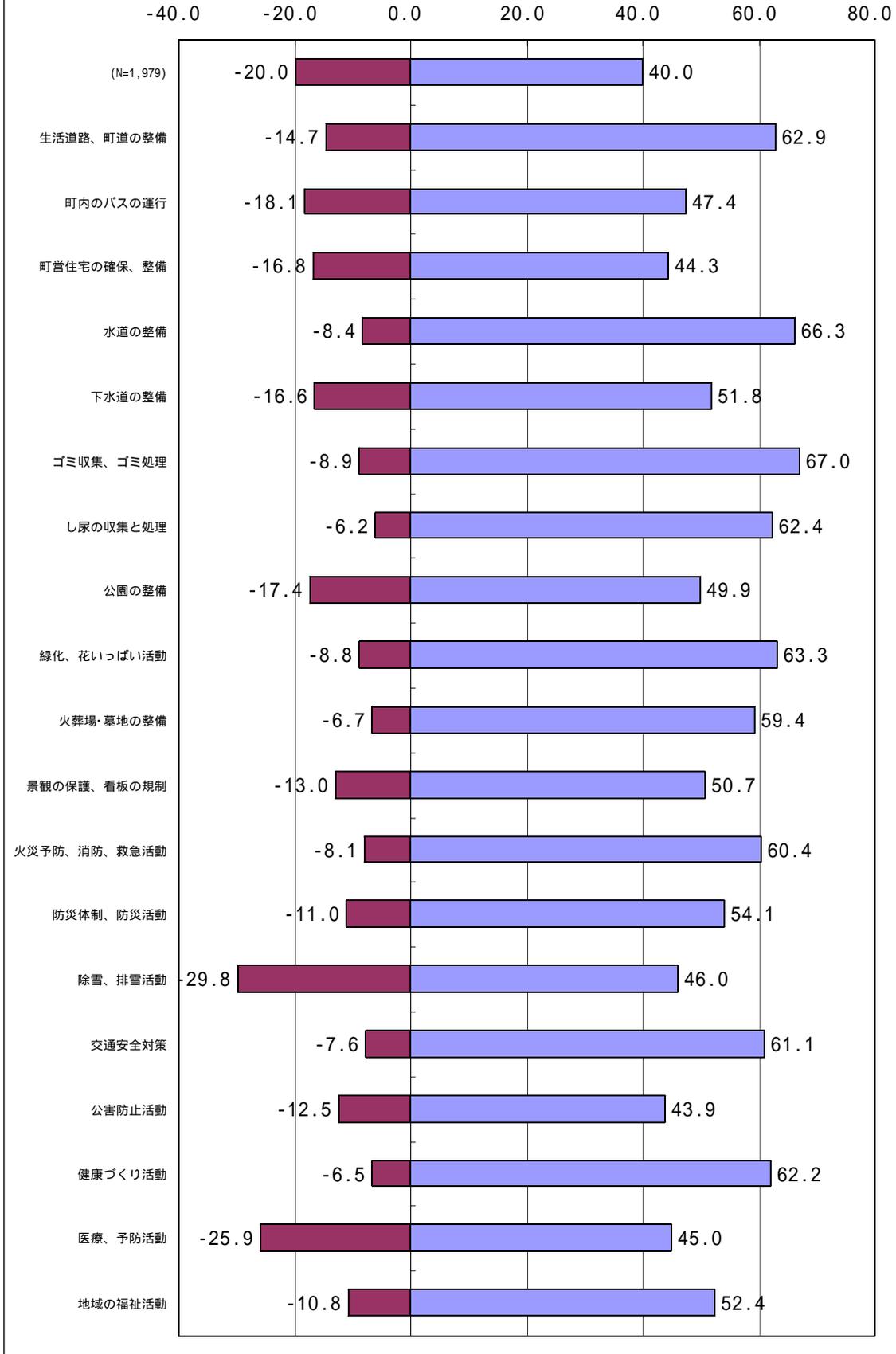
考 察

- ・雇用（雇用・就労対策）、産業振興（商店街振興、商工業の振興・企業誘致、観光振興）、医療（医療・予防活動）、生活（除雪・排雪活動）については、施策が劣っている、充実していないと、厳しい評価を受けています。

行政サービスに対する評価 (A)

回答者の構成比

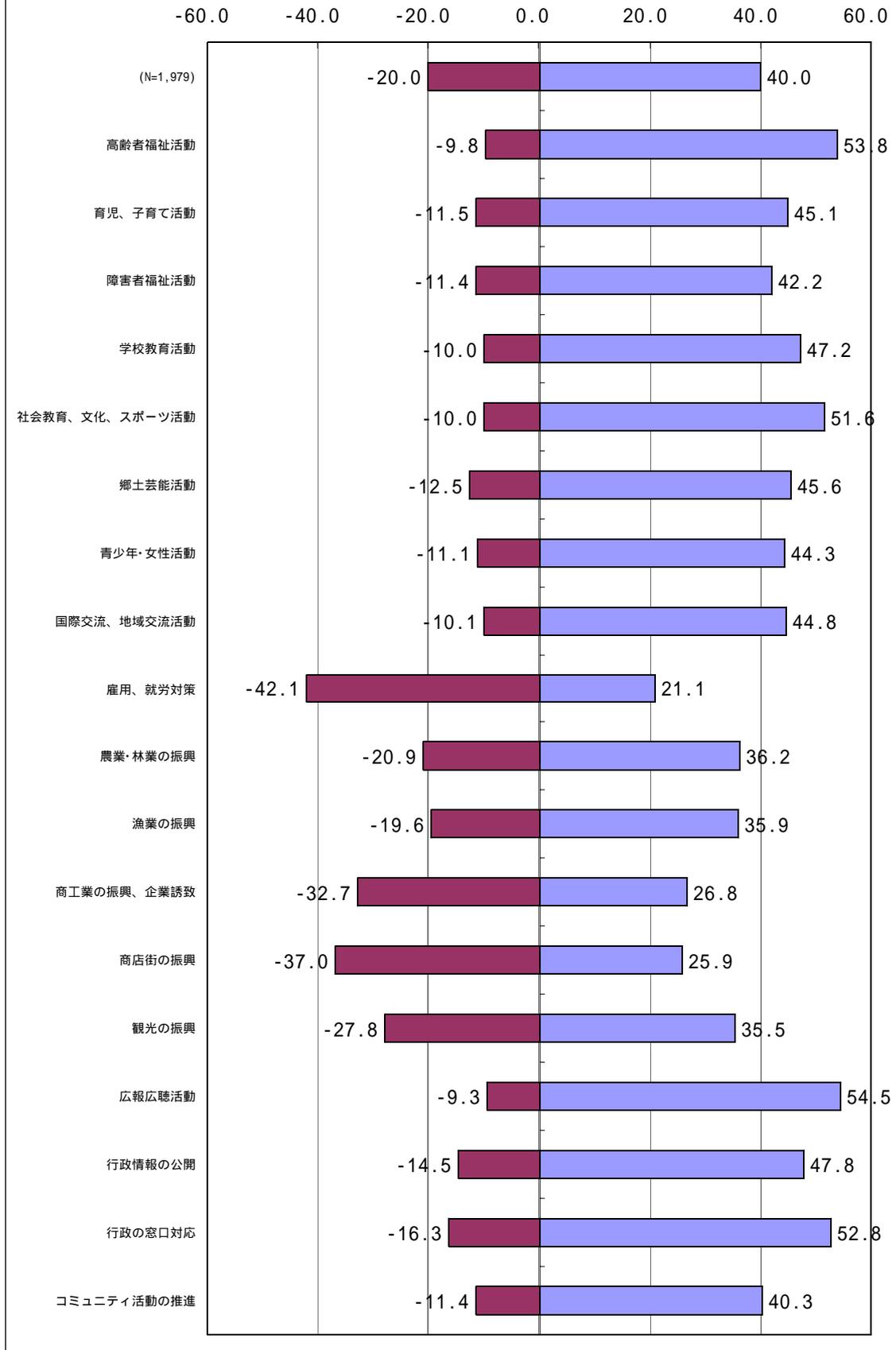
■ 充実している計・ふつう
■ 劣っている計



行政サービスに対する評価（B）

回答者の構成比

■ 充実している計・ふつう
■ 劣っている計



5 . 定住意向

1) 定住意向 (問2-1)

設問 2 - 1) ご家族 (世帯主) の居住意向 (1 つ選んでください)

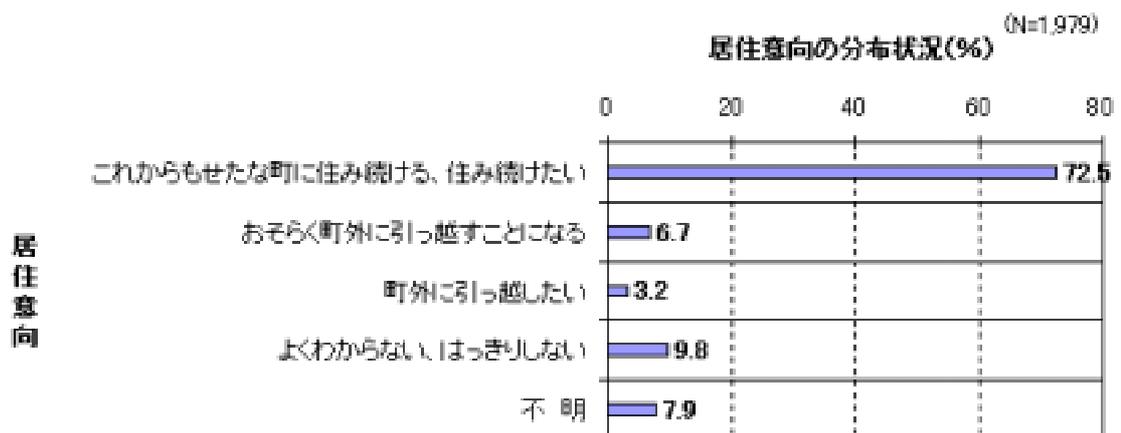
- これからもせたな町に住み続ける、住み続けたい
- おそらく町外に引っ越すことになる
- 町外に引っ越したい
- よくわからない、はっきりしない

集計結果

- ・「これからもせたな町に住み続けたい」と考えている人は、1,435人 (72.5%) です。
- ・「おそらく町外に引っ越す、町外に引っ越したい」と、転出意向のある人は195人 (9.9%) です。

考 察

- ・回答者の70%以上はせたな町に住み続ける、住み続けたいと考えています。一方、引っ越す、分からないは各々10%以下となっており、住民の大半が、今後も住み続けたいと思っ
- ていることが分かりました。



2) 定住もしくは転居の理由(問2-2)

設問2-2) 前問の回答の、住み続ける、または転出の理由(1つ選んでください)

住みやすいので	健康、通院の都合	職場、雇用の都合
就職、収入の都合	介護、福祉などの都合	
子どもの教育の都合	とくに理由はない	その他

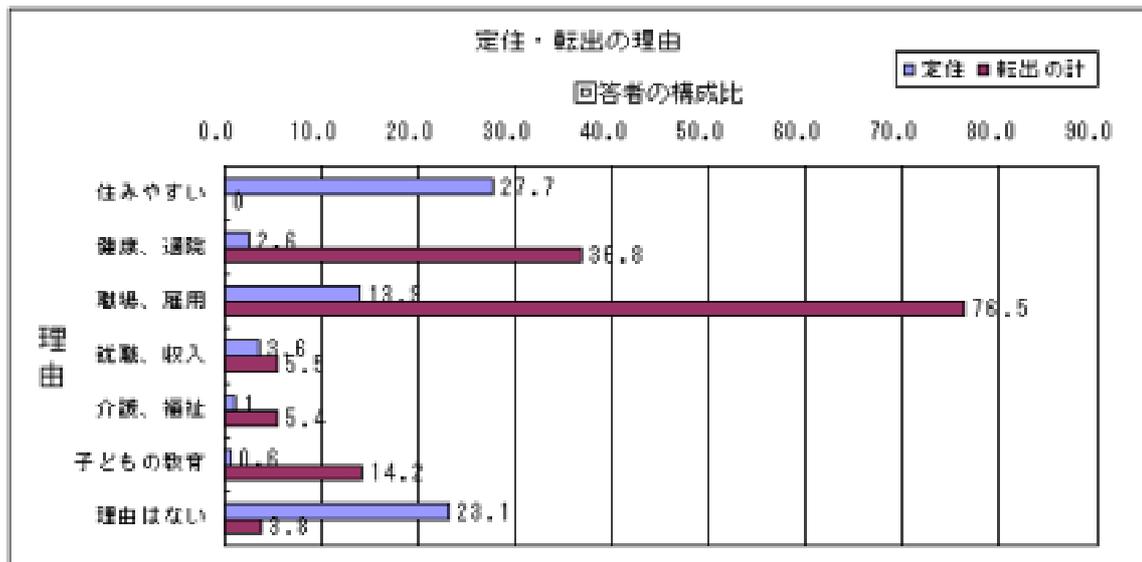
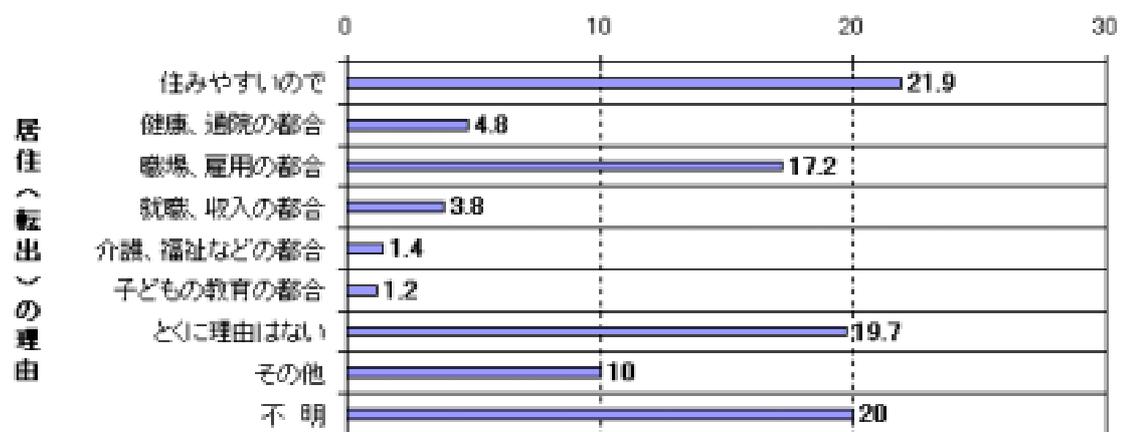
集計結果

- ・「住み続ける、もしくは転出したい」と判断する理由は、住みやすさ(21.9%)、職場・雇用の都合(17.2%)です。とくに理由はないは、19.7%です。
- ・とくに「住み続ける(定住)」と考えている人の判断理由は、住みやすさ(27.7%)、職場・雇用の都合(13.9%)です。
- ・「町外に引っ越す(転出)」と考えている人の判断理由は、職場・雇用の都合(76.5%)、健康・通院(36.8%)、子どもの教育(14.2%)となっています。

考 察

- ・定住もしくは転居の判断理由としては、町の住みやすさと雇用・職場の都合が重要なことが分かりました。
- ・定住志向の強い人にとっては、住みやすいことが定住の要因です。転出意向のある人にとっては、職場雇用が決定理由となっています。

居住(転出)理由の分布状況(%) (N=1,823)



6. せたな町の総合評価

1) 行政に対する総合評価(問6-1)

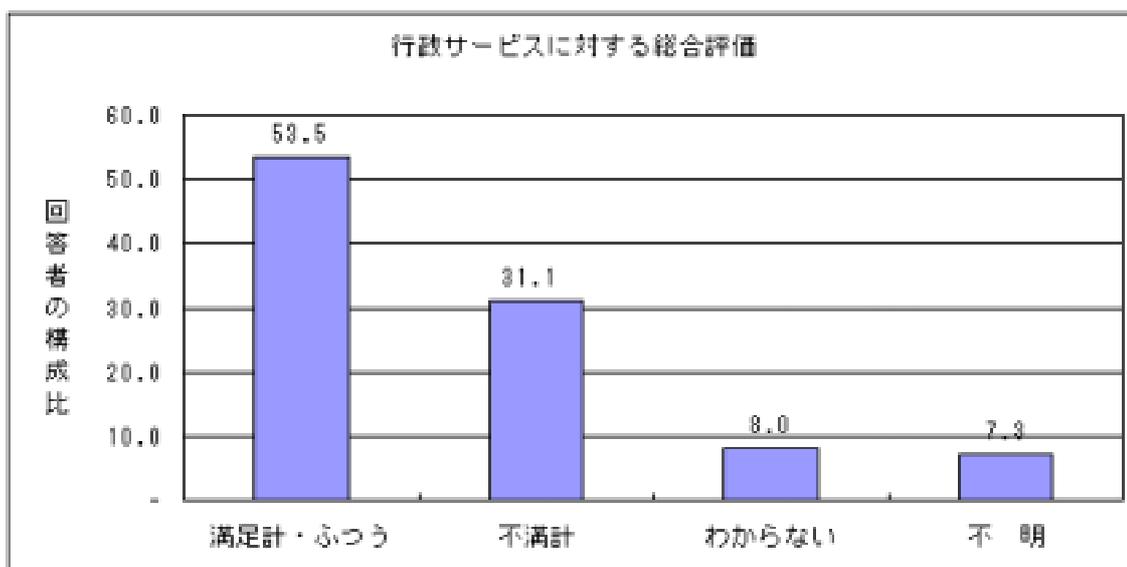
設問6-1) せたな町もしくは旧3町の行政サービスについて、あなたの満足状況はいかがでしょう。(以下の中から1つ選んでください)		
おおいに満足している	まあ、満足している	ふつう
あまり、満足していない	全く、満足していない	わからない

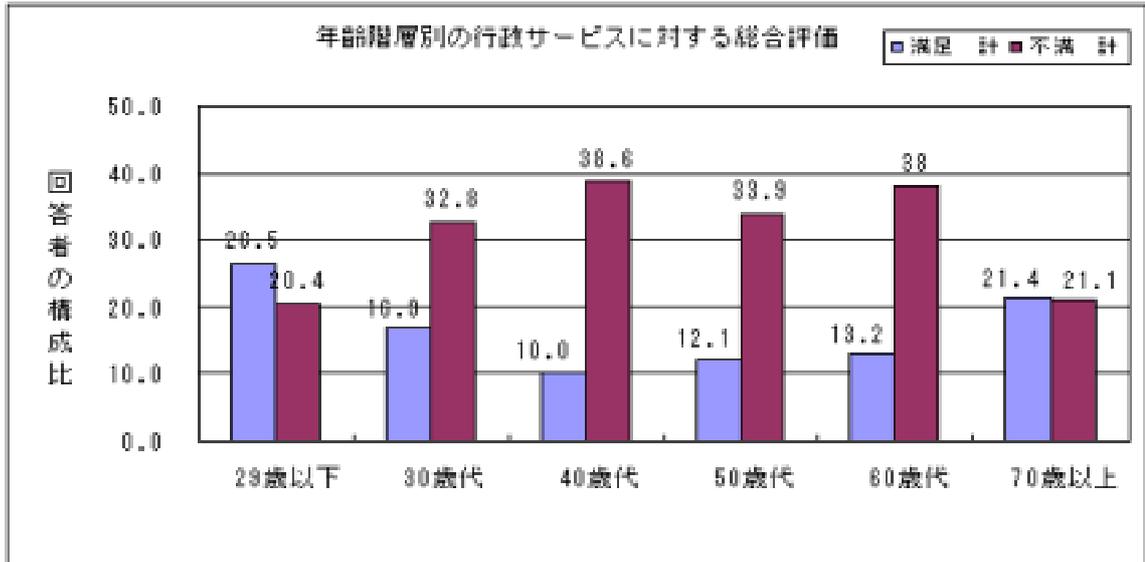
集計結果

- ・ せたな町(及び旧3町)の行政サービスに対する満足状況をみると、おおいに満足は45人(2.3%)、まあ、満足しているが266人(13.4%)、ふつうが749人(37.8%)です。「満足の計」は311人(15.7%)です。
- ・ 回答者の年齢階層別に行政サービスに対する満足、不満足をみると、40歳代、50歳代、60歳代で不満が多く、29歳以下と70歳代以上では満足が多くなっています。

考 察

- ・ 住民の半数は、行政サービスに満足していますが、一方で、不満、分からないもあわせて39%となっています。
- ・ 回答者の年代別の評価をみると、30歳代から60歳代まで大半の年齢層で、不満が満足(ふつうを除く)を上回っています。
- ・ しかし、29歳以下と70歳以上では、満足の方が不満を上回っています。





2) 近所付き合いの総合評価 (問6-2)

設問 6 - 2) 近所づきあいや町内会活動について、あなたの満足状況はいかがでしょう
か。(以下の中から 1つ選んでください)

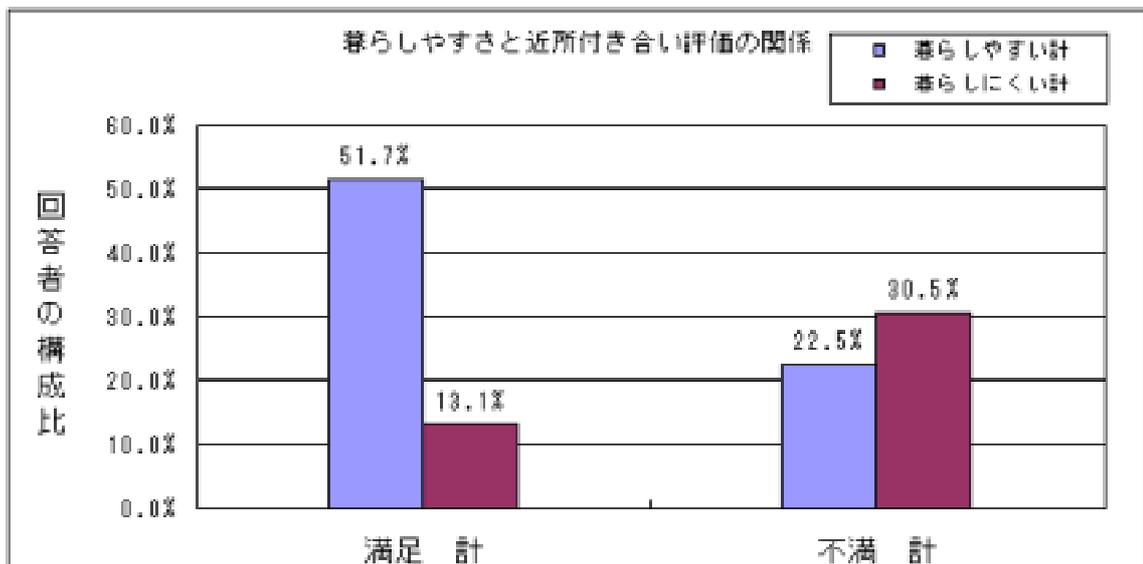
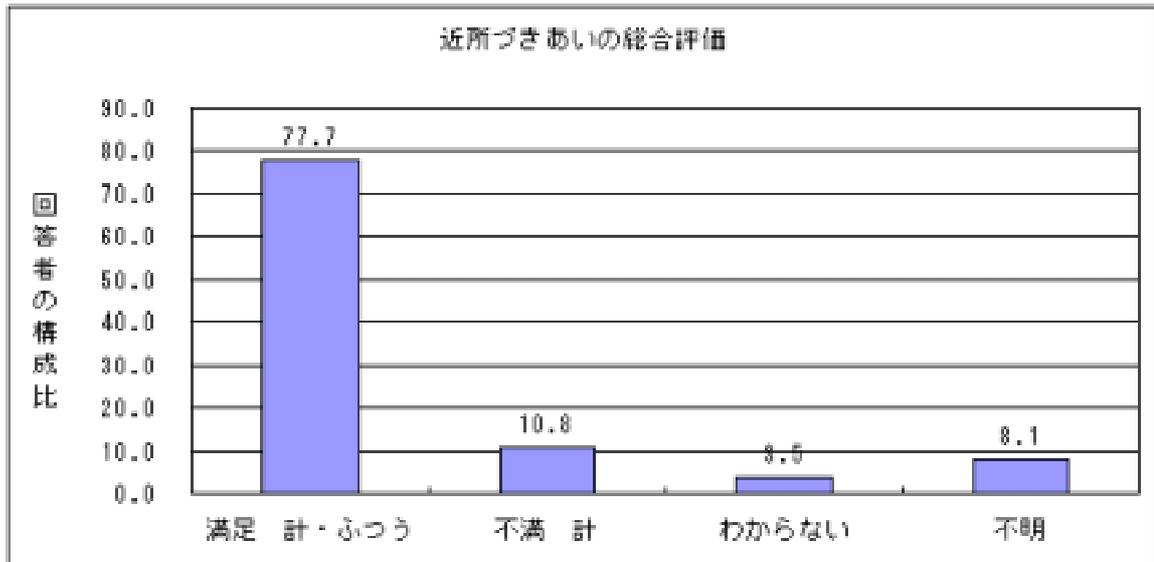
おおいに満足している	まあ、満足している	ふつう
あまり、満足していない	全く、満足していない	わからない

集計評価

- ・近所づきあいに対し、「満足している(ふつうを含む)」人は、回答者の78%となっています。
- ・不満、わからない、と回答した人は、あわせて14%です。
- ・近所づきあいに満足している人、満足していない人の、暮らしやすさへの評価をみると、近所づきあいに満足している人は、52%の人が暮らしやすいと答えています。
- ・不満の人では23%の人が暮らしやすいと答えていますが、一方で31%の人が暮らしにくいとと考えており、暮らしにくいと思っている人の方が多い状況です。

考 察

- ・住民の大半は、せたな町での近所づきあいに満足しており、不満はほとんどないことが分かりました。
- ・近所づきあいに満足している人の半数は、せたな町は暮らしやすいと思っています。
- ・不満のある人では、どちらかという、せたな町は暮らしにくいと思っている人の方が多くなっています。



3) 住みやすさの総合評価(問2-3)

設問2-3) せたな町は、暮らしやすい町ですか (1つ選んでください)

とても暮らしやす

まあまあ暮らしやすい

ふつう

やや暮らしにくい

とても暮らしにくい

よくわからない

集計結果

・せたな町の暮らしやすさで、とても暮らしやすいと答えた人は、回答者の31.1%、ふつうは29.1%です。あわせて60.2%の人がせたな町は「暮らしやすい」町と考えています。

・「暮らしにくい」という人は18.1%です

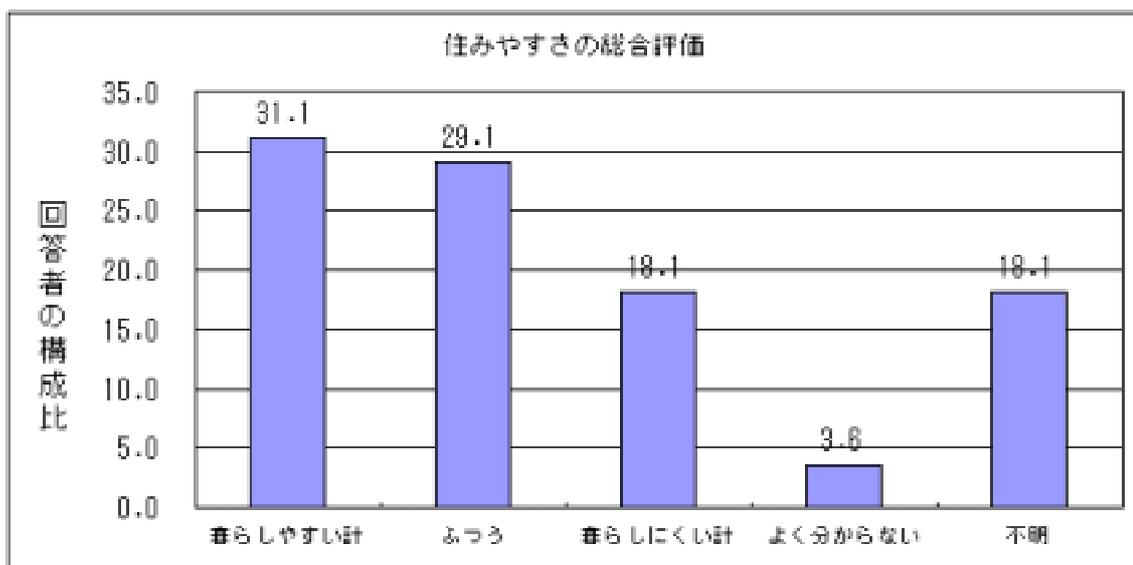
・定住意向別にみると、住み続けるという人は、暮らしやすいと考えていますが、引っ越したい、よく分からないと考えている人は、暮らしにくいと考えています。

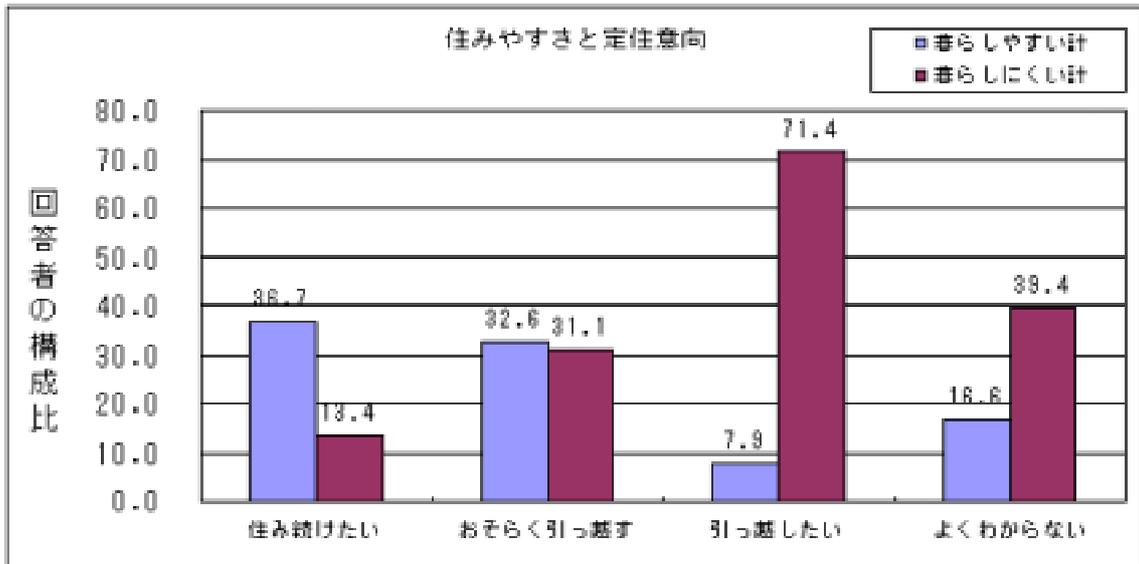
考 察

・回答者の6割は、せたな町は暮らしやすい町と考えています。

・しかし、暮らしにくい、よく分からないと考えている人も22%います。

・引っ越したいと考えている人は、暮らしにくい町と思っているようです。





7. せたな町の将来目標

1) 今後の重点分野(問4)

設問4 今後、まちづくりに重要と思われる仕事として、あなたが関心のあるものはどれでしょうか。関心のあるものを、最大5つ選んで下さい。

- 安心で、総合的、全町的な保健・医療・福祉を進めるまちづくり
- 地域の暮らしや住民活動に密着した在宅福祉を進めるまちづくり
- 子どもの減少への対策、少ない子どもや子どものいる世帯を支援するまちづくり
- 住民の自主意識を高め自発的なリーダーの育成
- 過疎や災害に対応した町づくり
- 合併後の、全町の一体感づくり
- 住民参加の新しい場づくり、住民と行政との交流の場づくり
- 既存施設を大事に使うまちづくり
- 地域の特色を大事にした地域振興と個性的なまちづくり
- 地域の歴史や資源を大事に生かしたまちづくり
- 民間の活力や資源を活かした行政サービスの向上
- 公平な行政サービスの推進
- 地域住民の交流による新しい産業づくり、地域づくり
- 他の市町村との交流や連携による町の活性化
- 食を中心とした、地域経済と地域社会の連携と活性化
- 景観や緑に配慮した美しい街並みづくり、郷土づくり
- 地域産業が連携した活気のあるまちづくり

全体的な傾向

集計結果

- ・まちづくりを進めるうえで重要と思われる施策は、第1にあがるものは、「安心で、総合的、全町的な保健・医療・福祉を進めるまちづくり(1,386人、70.0%)」です。
- ・第2は、「地域産業が連携した活気のあるまちづくり(838人、42.3%)」、第3位は、「公平な行政サービスの推進(740人、37.4%)」、第4は、「合併後の、全町の一体感づくり(723人、36.5%)」です。

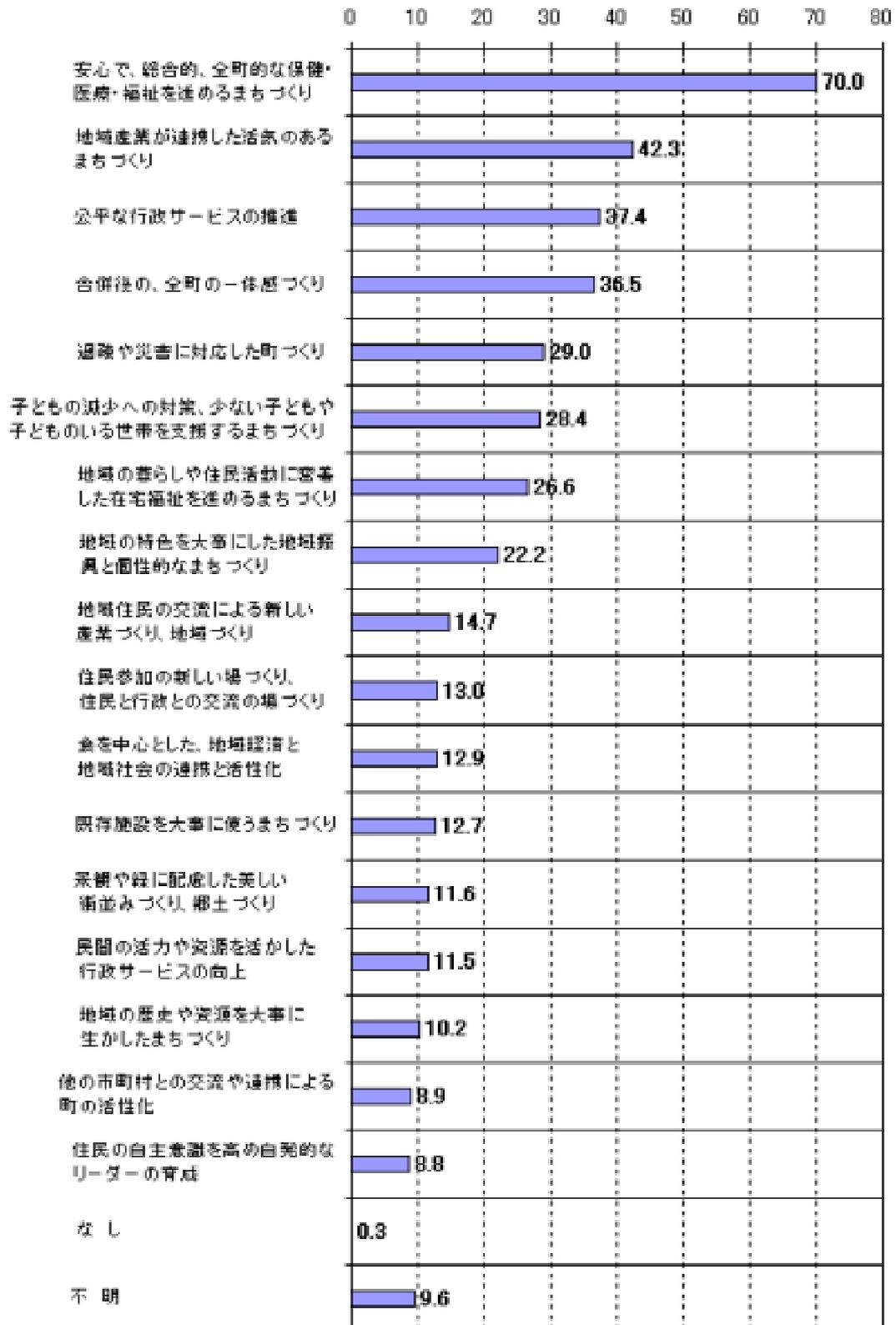
考察

- ・誰もが健康に安心して暮らせる施策が望まれています

仕事の分布状況(複数回答、%)

(N=1,979)

まちづくりに重要と思われる仕事



福祉施策

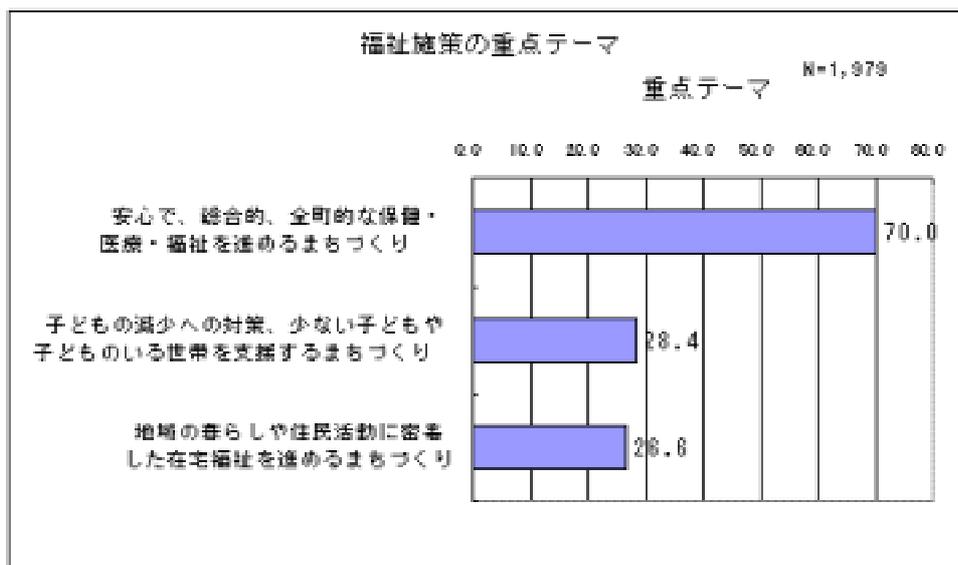
安心で、総合的、全町的な保健・医療・福祉を進めるまちづくり
地域の暮らしや住民活動に密着した在宅福祉を進めるまちづくり
子どもの減少への対策、少ない子どもや子どものいる世帯を支援するまちづくり

集計結果

・福祉施策のなかで、最も重要と指摘されているのは、「安心で、総合的、全町的な保健・医療・福祉を進めるまちづくり」で、回答者の70.0%が指摘しています。

考察

・福祉施策のなかでは、保健・医療・福祉の総合的な確保が第1に求められています。

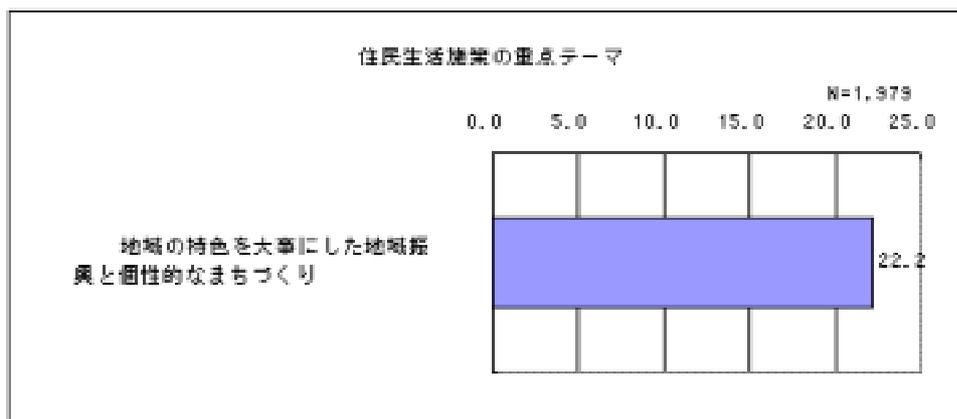


住民生活施策

地域の特色を大事にした地域振興と個性的なまちづくり

集計結果

・住民生活施策として、「地域の特色を大事にした地域振興と個性的なまちづくり」を、22.2%の回答者が重要と指摘しています。

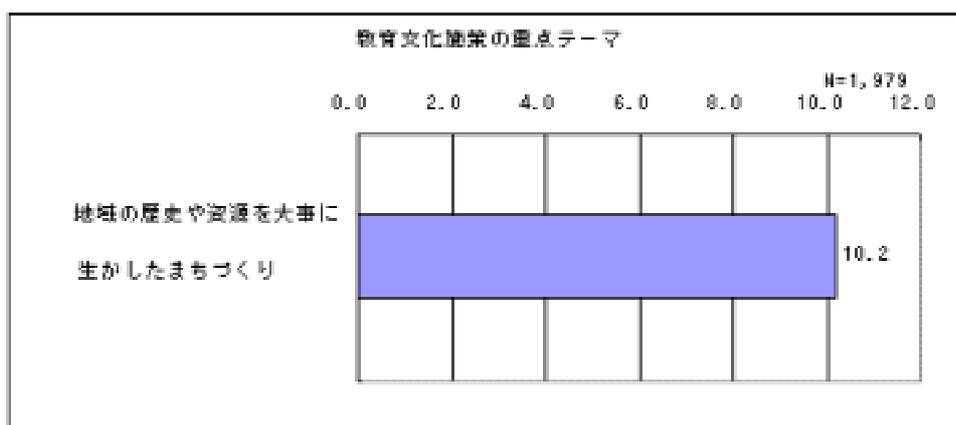


教育文化施策

地域の歴史や資源を大事に生かしたまちづくり

集計結果

・教育文化施策では、「地域の歴史や資源を大事に生かしたまちづくり」を、10.2%の回答者が重要と指摘しています。



産業振興施策

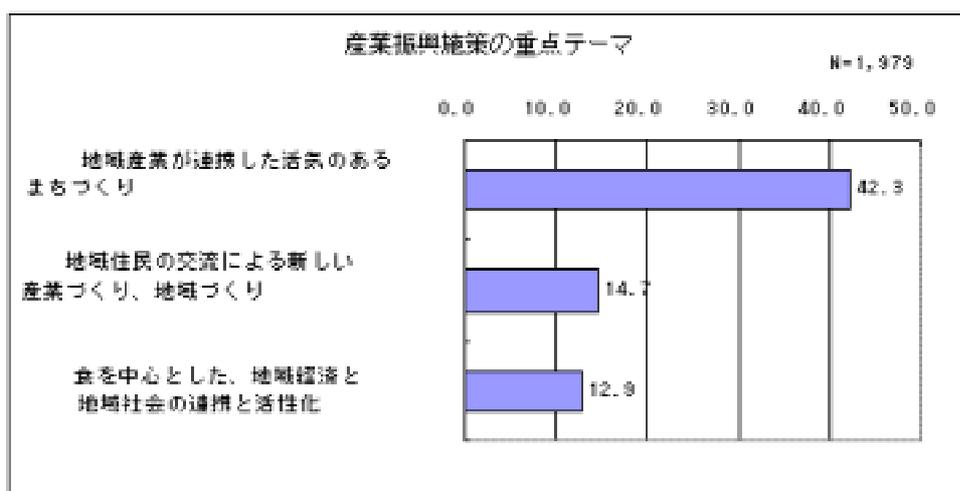
地域住民の交流による新しい産業づくり、地域づくり
食を中心とした、地域経済と地域社会の連携と活性化
地域産業が連携した活気のあるまちづくり

集計結果

・産業振興施策のなかで、最も重要と指摘されているのは、「地域産業が連携した活気のあるまちづくり」で、回答者の42.3%が指摘しています。

考 察

・産業振興施策では、「地域産業が連携した活気のあるまちづくり」が、住民の関心の大きい施策で、回答者の4割がそう考えています。



生活環境施策

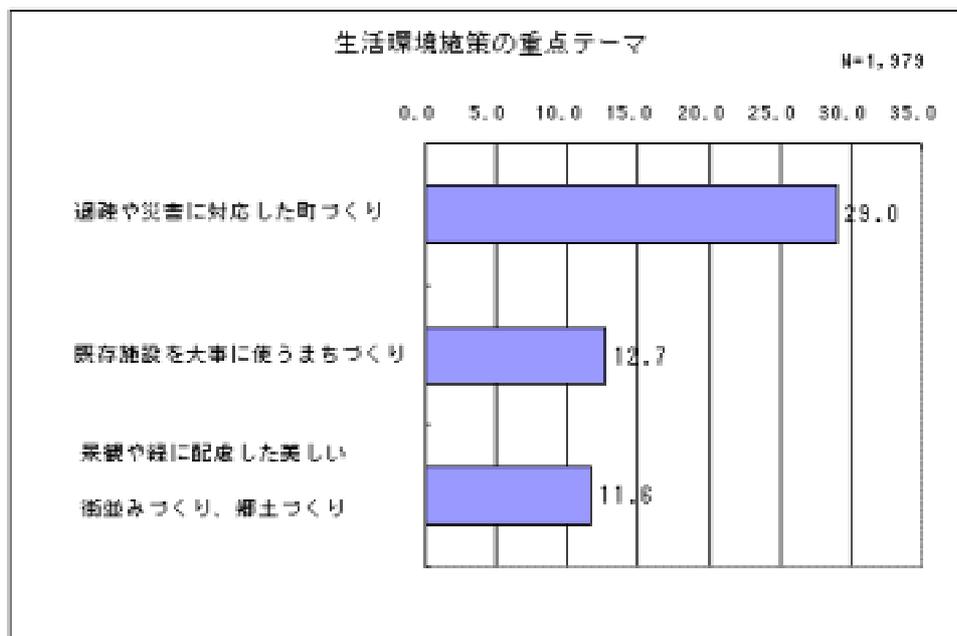
過疎や災害に対応した町づくり
既存施設を大事に使うまちづくり
景観や緑に配慮した美しい街並みづくり、郷土づくり

集計結果

・生活環境施策で、最も重要と指摘されているのは、「過疎や災害に対応した町づくり」で、回答者の29.0%が指摘しています。

考 察

・生活環境施策では、「 過疎や災害に対応した町づくり」が、住民の関心の大きい施策です。



住民参加施策

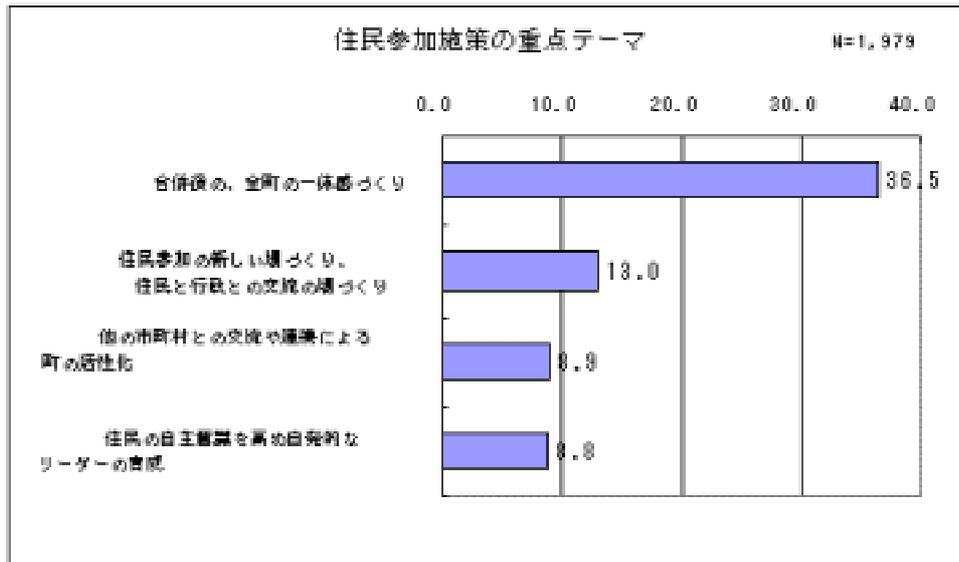
住民の自主意識を高め自発的なリーダーの育成
合併後の、全町の一体感づくり
住民参加の新しい場づくり、住民と行政との交流の場づくり
他の市町村との交流や連携による町の活性化

集計結果

・住民参加施策で、最も重要と指摘されているのは、「 合併後の、全町の一体感づくり」で、回答者の36.5%が指摘しています。

考 察

・住民参加施策として、37%の住民が「 合併後の、全町の一体感づくり」を重要と考えています。



行財政運営施策

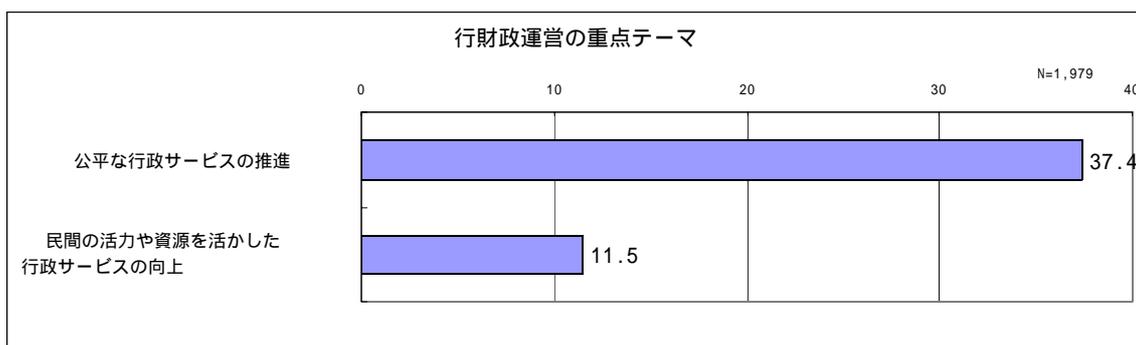
民間の活力や資源を活かした行政サービスの向上
公平な行政サービスの推進

集計結果

・行財政運営施策で、最も重要と指摘されているのは、「公平な行政サービスの推進」で、回答者の37.4%が指摘しています。

考 察

・行財政運営施策では、37%の住民が「公平な行政サービスの推進」が重要と考えています。



2) せたな町が目指す将来イメージ（問5）

設問5 今後、せたな町は、どのような町に発展してほしいと思いますか。あなたの考えに最も近いものはどれでしょう。（以下の中から1つ選んでください）

健やかに暮らせる福祉の町

活力に満ちた産業のある町

自然と共生する安全な町

多様な交流を生むにぎわいのある町

豊かな人間性と文化をはぐくむ町

みんなで作る町

集計結果

・せたな町の将来像として、住民のイメージに最も近いのは、「健やかに暮らせる福祉の町（626人、31.6%）」と、「活力に満ちた産業のある町（583人、29.5%）」の2つです。

考察

・せたな町の将来像として、住民のイメージに最も近いのは、「健やかに暮らせる福祉の町」と、「活力に満ちた産業のある町」の2つです。

・各々、回答者の3割がそう考えています。

